

「鳴瀬川等・北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会」

1. 令和5年7月15日梅雨前線による大雨に係る出水の概要 p. 1
2. 水害リスク情報の充実 ～多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」～ p. 6
3. 洪水に関する危険度情報の説明 ～洪水キキクルと水害リスクラインの一体化～ p. 9
4. 流域タイムラインについて p. 12
5. ワンコイン浸水センサの紹介 ～令和5年度ワンコイン浸水センサ実証実験～ p. 15
6. 支援業務について p. 20
7. 減災対策取り組み状況について p. 23
8. 令和5年度に実施した防災気象情報の改善【仙台管区气象台】 p. 33
9. この夏の天候の見通しについて【仙台管区气象台】 p. 41
10. 想定し得る最大規模降雨の洪水浸水想定区域について【宮城県】 p. 44
11. 宮城県主要事業について【宮城県】 p. 47

1. 令和5年7月15日梅雨前線による 大雨に係る出水の概要

令和5年7月15日からの梅雨前線による大雨に係る出水の概要

[令和5年7月17日時点]

降雨状況

○8地点で24時間雨量が観測史上1位を記録し、多いところで300mmを超過。

◇ ^{はちもり} 八森雨量観測所(秋田県山本郡八峰町)	24時間雨量	229.0mm
◇ ^{ふじさと} 藤里雨量観測所(秋田県山本郡藤里町)	24時間雨量	289.5mm
◇ ^{のしろ} 能代雨量観測所(秋田県能代市)	24時間雨量	180.5mm
◇ ^{たかのす} 鷹巣雨量観測所(秋田県北秋田市)	24時間雨量	187.5mm
◇ ^{おがしんざん} 男鹿真山雨量観測所(秋田県男鹿市)	24時間雨量	196.5mm
◇ ^{おが} 男鹿雨量観測所(秋田県男鹿市)	24時間雨量	244.0mm
◇秋田雨量観測所(秋田県秋田市)	24時間雨量	188.5mm
◇ ^{にべつ} 仁別雨量観測所(秋田県秋田市)	24時間雨量	332.5mm

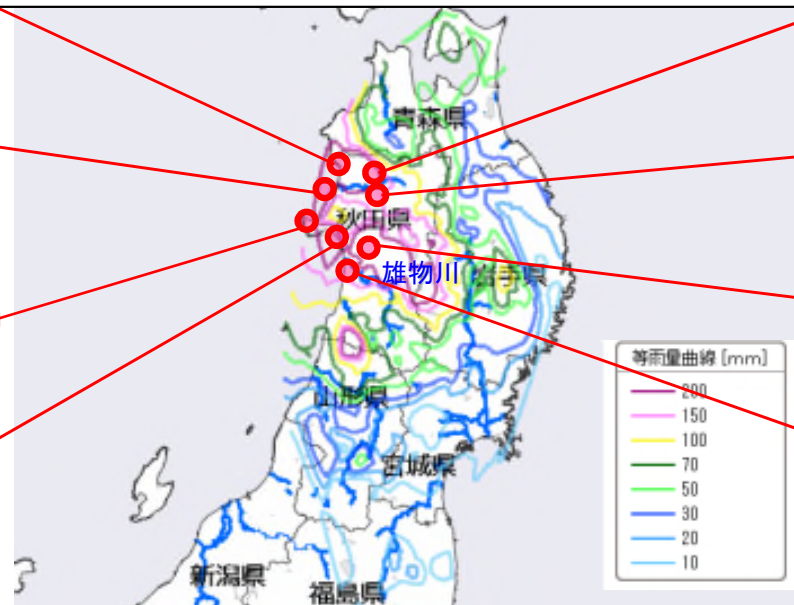
^{はちもり}○八森雨量観測所 229.0mm
(24時間既往1位:202.0mm)
(7月平年値:172.2mm)

^{のしろ}○能代雨量観測所 180.5mm
(24時間既往1位:142.0mm)
(7月平年値:162.5mm)

^{おがしんざん}○男鹿真山雨量観測所 196.5mm
(24時間既往1位:178.0mm)
(7月平年値:178.8mm)

^{おが}○男鹿雨量観測所 244.0mm
(24時間既往1位:192.0mm)
(7月平年値:176.2mm)

等雨量線図(7月15日の24時間雨量)



^{ふじさと}○藤里雨量観測所 289.5mm
(24時間既往1位:216.0mm)
(7月平年値:275.6mm)

^{たかのす}○鷹巣雨量観測所 187.5mm
(24時間既往1位:182.0mm)
(7月平年値:214.7mm)

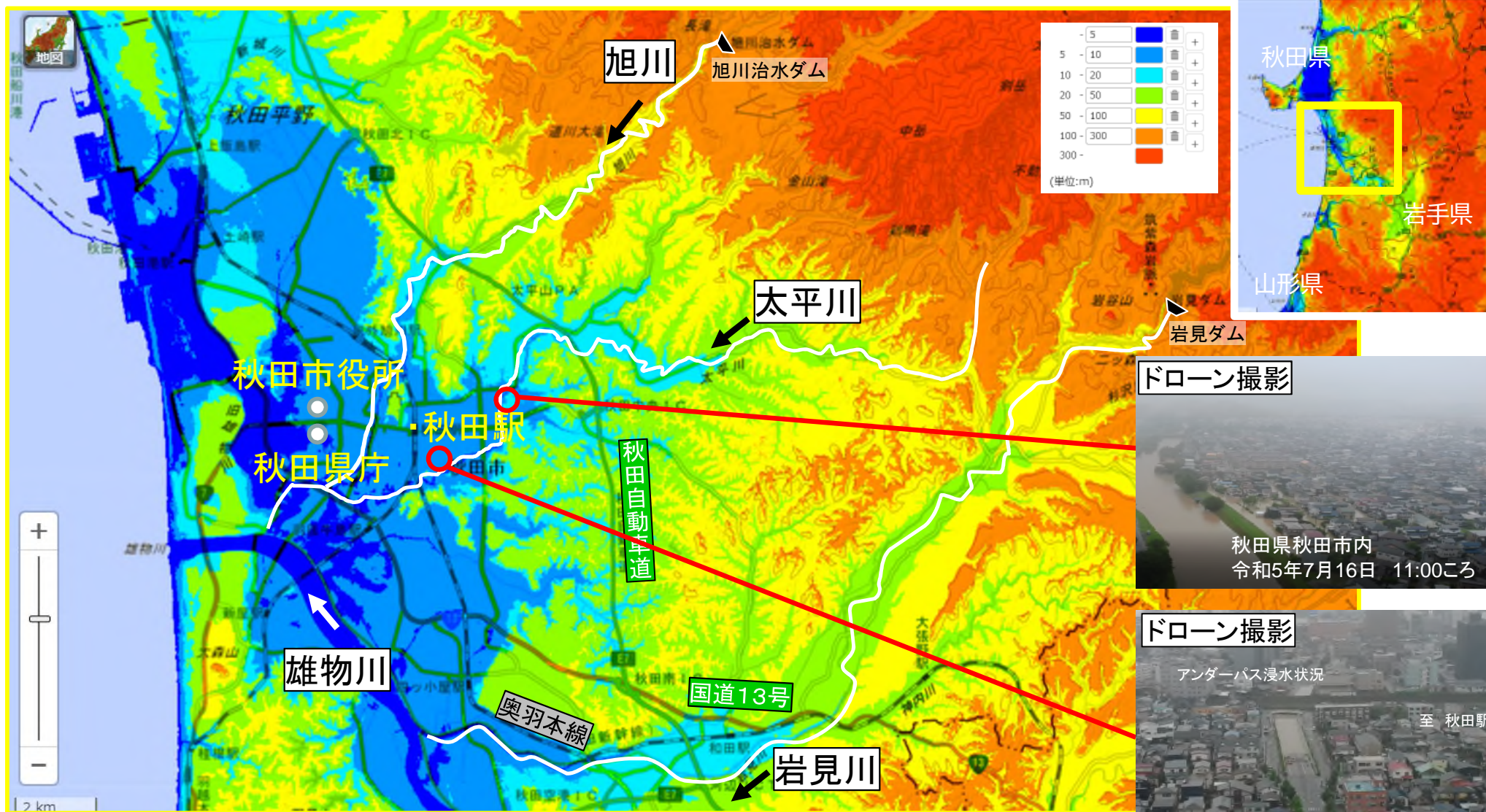
^{にべつ}○仁別雨量観測所 332.5mm
(24時間既往1位:221.0mm)
(7月平年値:295.5mm)

^{あきた}○秋田雨量観測所 188.5mm
(24時間既往1位:156.5mm)
(7月平年値:197.0mm)

雄物川水系(秋田市内周辺の地形状況)

秋田市の住宅被害は3,631戸(8月3日16:00時点 秋田県災害対策本部資料より)

内訳:全壊2戸、一部破損2戸、床上浸水2,215戸、床下浸水1,412戸。



※国土地理院地図(色別標高図)

秋田市内周辺の被害状況

令和5年 7月15日からの大雨に関する河川の被害及び土砂災害の状況について

令和5年7月25日 6:30時点

国土交通省 水管理・国土保全局

※遠隔であり、数値等は今後変わることもある。

- 国管理河川では、雄物川水系雄物川、米代川水系米代川の無堤部での浸水被害を確認(概ね解消)。その他の河川については内水被害を含めて調査中。氾濫危険水位を超過する水位上昇を記録した雄物川水系雄物川、玉川の上流にある玉川ダム(国管理)では、通常の洪水調節よりも大幅に流量を抑制する特別防災操作(全量カット)を実施し被害を軽減。
- 都道府県管理河川では、秋田県管理の6水系16河川で氾濫が発生(概ね解消)。このうち、雄物川水系岩見川では、堤防が決壊し農地が浸水(応急復旧中)。その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。
- 22ダムにおいて洪水調節(事前放流2ダムを含む)を実施。このうち、3ダム(雄物川水系旭川:旭川ダム(秋田県管理)、米代川水系小阿仁川:萩形ダム(秋田県管理)、雄物川水系三内川:岩見ダム(秋田県管理)では、大雨の長期化に伴いダムが満杯に近づき、異常洪水時防災操作(緊急放流)に移行(被害なし又は被害軽減)。
- 土砂災害については、秋田県、新潟県でがけ崩れが発生しており、被害の状況を確認中。

○ 氾濫による浸水被害の発生状況

<国管理河川>

雄物川水系雄物川(秋田市)
米代川水系米代川(北秋田市)

<秋田県管理河川>

雄物川水系新城川、太平川、岩見川(秋田市)、
入見内川(仙北市)
米代川水系檜山川、種梅川、悪土川(能代市)
小阿仁川(上小阿仁村)
馬場目川水系馬場目川、内川川(五城目町)、
馬踏川(秋田市)、三種川、鶴川川(三種町)
比詰川水系比詰川(男鹿市)
塙川水系塙川(八峰町)
水沢川水系水沢川(八峰町)

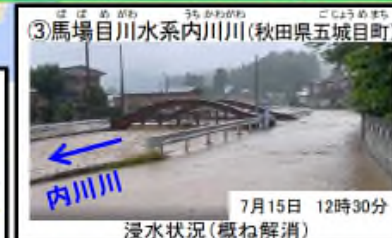
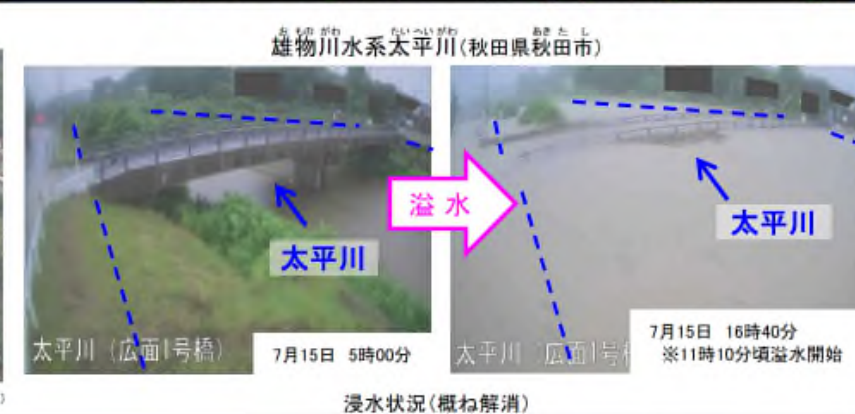


○ 土砂災害の発生状況

<秋田県>
がけ崩れ(秋田市添川)



① 秋田市 秋田駅周辺の浸水状況



自治体支援(リエゾン・TEC-FORCE・災害対策用機械)の活動状況

○ 自治体ニーズの把握と迅速な対応を実施するため、**2県1地域振興局4市2町へ延べ77人の職員を派遣**（7月20日時点）。



だいせん
大仙市でのリエゾン活動状況（7月15日）

○ TEC-FORCEによる被災状況調査等のため、秋田県内へ**延べ30人の職員を派遣**（7月20日時点）。



ごじょうめ まち なかやしき ばし
五城目町（中屋敷橋）での被災状況調査（7月19日）

○ **照明車6台、排水ポンプ車9台、散水車4台、路面清掃車1台**を秋田県内の自治体支援として派遣（7月20日迄）



大仙市排水ポンプ車活動状況（7月19日）



男鹿市給水作業（7月19日）



男鹿市散水作業（7月17日）

2. 水害リスク情報の充実

～ 「多段階の浸水想定図」 及び 「水害リスクマップ」 ～



国土交通省
東北地方整備局

いのちとくらしをまもる
防災減災

地域を“みず”から守る。
東北流域治水

令和5年3月24日
北上川下流河川事務所

より細やかな水害リスク情報を公表します 「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」

国土交通省では、気候変動に伴い激甚化・頻発化する水災害に対応するため、流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う総合的かつ多層的な水災害対策である「流域治水」の取り組みを推進しています。

この取り組みの推進を目的として、まちづくりや住まい方の工夫等の参考となるよう、現在と将来（今後実施する河川整備の効果を反映）の浸水範囲と頻度の関係をわかりやすく示す、リスクの見える化に取り組むこととしています。

今般、鳴瀬川水系・北上川水系（宮城県側）を対象とした「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を作成したことから公表いたします。

1. 公表内容

「多段階の浸水想定図」は、年超過確率（1/10、1/30、1/50等）の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

「水害リスクマップ」は、「多段階の浸水想定図」を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生、浸水深50cm以上、浸水深3m以上）を示した図面です。

2. 水害リスクマップの活用イメージ

自治体等がまちづくりを検討する際、より詳細な水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進します。

3. WEB サイトURL : <https://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/project/index.html>

＜発表記者会＞

石巻記者クラブ、古川記者クラブ、宮城県記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問い合わせ】

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所

住所：宮城県石巻市蛇田字新下沼80

電話：0225-95-0194（代表）

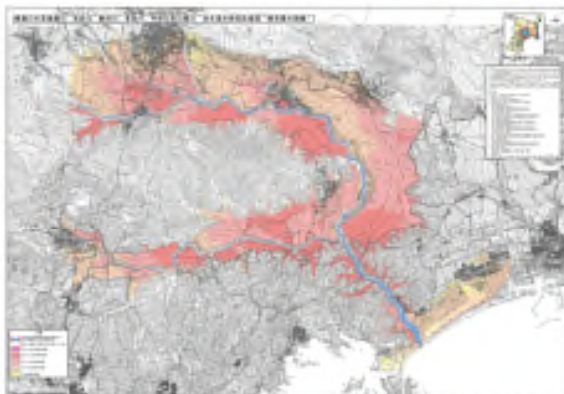
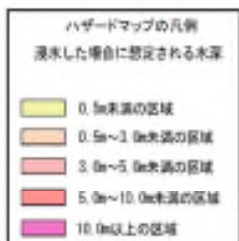
副所長（企画）	高田 浩穂	（内線205）
調査課長	諸橋 拓実	（内線351）

水害リスク情報の充実(水害リスクマップ(浸水頻度図)の整備)

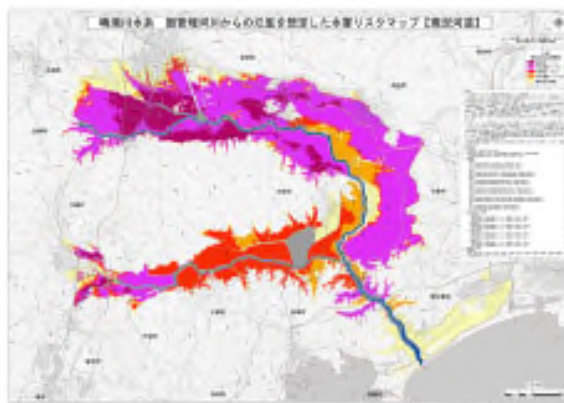
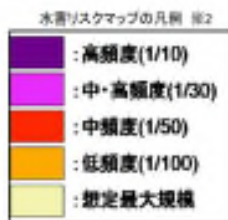
- 従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進。
- 今後は、これに加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ(浸水頻度図)」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進。

水害リスク情報の充実

○水害ハザードマップ



○水害リスクマップ^{※1}



※2 上記凡例のくくりの数値は確率規模を示しています。

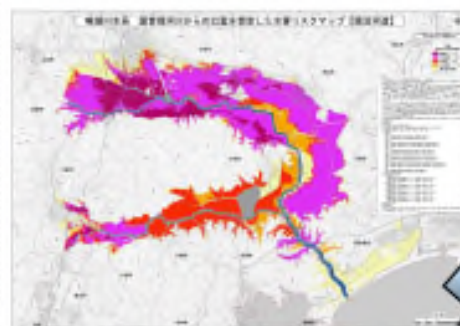
※1 当資料の水害リスクマップは床上浸水増高(50cm以上)の浸水が発生する範囲を示しています。

水害リスクマップの活用イメージ

現在の水害リスクと今後実施する河川整備の効果を反映した将来の水害リスクを提示し、以下に取り組む

- 住居・企業の立地誘導・立地選択や水害保険への反映等に活用することで、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進
- 企業BCPへの反映を促進することで、洪水時の事業資産の損害を最小限にとどめることにより、事業の継続・早期復旧を図る

現在(外水氾濫のみ)



整備後(外水氾濫のみ)



河川整備による
水害リスクの軽減

【掲載場所】

北上川下流河川事務所HP: <https://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/activity/ryuiki04.html>

国土交通省HP(全国) : https://www.mlit.go.jp/river/kasen/gyuiki_pro/risk_map.html

3. 洪水に関する危険度情報の説明

～洪水キキクルと水害リスクラインの一体化～



【同時発表：気象庁記者クラブ】

令和5年2月9日
気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課
水管理・国土保全局 河川環境課

大河川から中小河川まで地域の洪水の危険度が一目で分かります ～洪水キキクルと水害リスクラインを一体化～

地域の洪水の危険度を一元的に確認できるよう、これまで別々に提供してきた「洪水警報の危険度分布」（洪水キキクル）と「国管理河川の洪水の危険度分布」（水害リスクライン）を気象庁ホームページ上で一体的に表示します。

- これまで、気象庁では、中小河川の洪水危険度を伝える「洪水警報の危険度分布」（洪水キキクル）を平成29年（2017年）度から、一方、水管理・国土保全局では、国管理河川について、きめ細かな越水・溢水リスクを伝える「国管理河川の洪水の危険度分布」（水害リスクライン）を令和2年（2020年）度から運用し、それぞれのホームページから提供してきました。
- 今般、気象庁と水管理・国土保全局では、これらの情報を気象庁ホームページの洪水キキクルのページで一体的に表示する取組を開始します。（詳細は別紙参照）
- これにより、地方自治体や住民の皆様が、それぞれの場所における詳細なリスク情報をワンストップで確認可能になることから、適切な避難の判断・行動に資することが期待されます。
- なお、水害リスクラインのページでは、これまで提供していた現時点の危険度に加え、6時間先までの毎時の危険度などの閲覧も可能となります。

- 一体的表示の運用開始日時：令和5年2月16日（木）13時頃から
- 洪水キキクルのページ：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>
- 水害リスクラインのページ：<https://frl.river.go.jp>

【問合せ先】

洪水キキクルに関すること：

気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課 橋口・福井
電話 03-6758-3900（内線：4209・4206）

水害リスクラインに関すること：

水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室 木村・高橋
代表：03-5253-8111（内線：35462）
直通：03-5253-8448

洪水に関する危険度情報の一体的発信

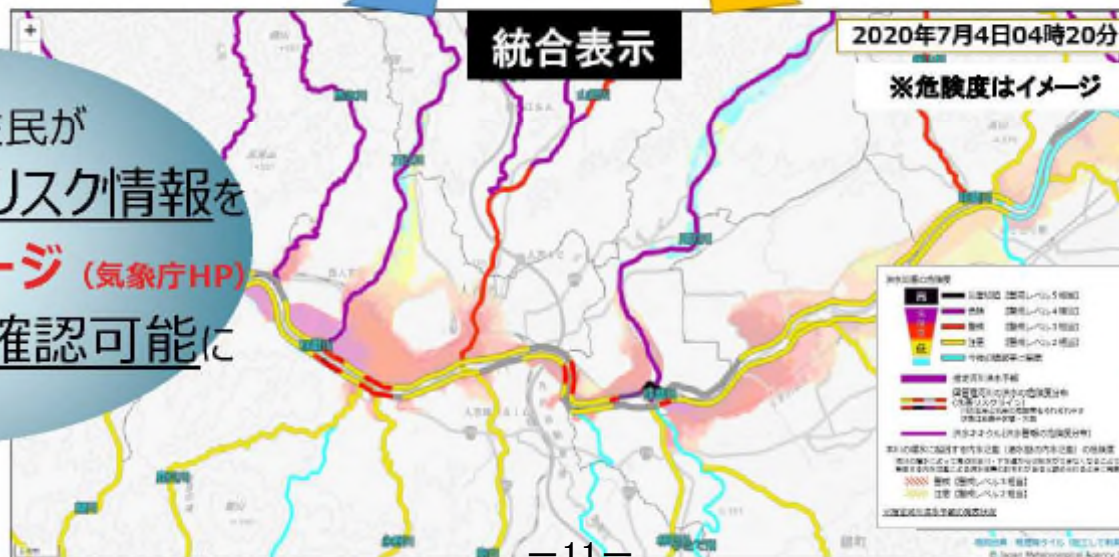
「国管理河川の洪水の危険度分布※」
(水害リスクライン)

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」
(洪水キキクル)

※ 中小河川の洪水危険度を伝える

国管理河川の詳細な予測情報は水害リスクラインで提供。



自治体・住民がそれぞれの詳細なリスク情報を洪水キキクルページ(気象庁HP)でワンストップで確認可能に

4. 流域タイムラインについて

「水害対応タイムライン」の概要

総力戦で挑む防災・減災プロジェクト第2弾(重点推進施策)

✓住民避難:一人でも多くの方が、円滑に避難できるように → リスクコミュニケーション※ツールの積極活用

※自然災害に関するリスクを題材として、あらゆる関係者(国、地方公共団体、指定公共機関に加え、民間企業や国民の皆様も含む)が、複数の主体間で行うコミュニケーション(情報共有、意見交換、協働など)

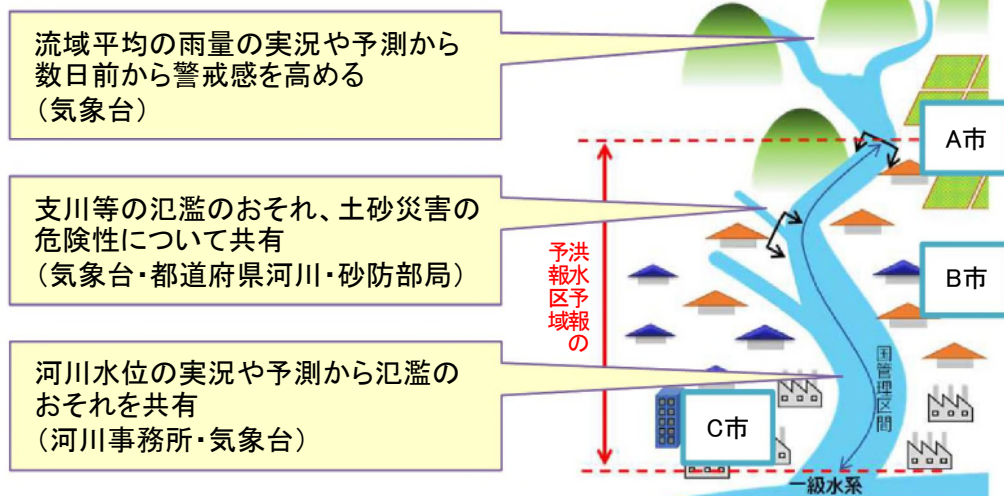
＜河川・気象の行動のきっかけとなる情報をまとめた流域タイムラインを作成・活用！＞

- ・ 河川・気象情報の提供やこれを受けた市区町村による避難情報の発令など基本的な行動を時系列で整理するタイムラインを、流域などの単位で関係自治体をまとめて作成。
- ・ 河川の増水・氾濫時の更なる円滑な防災対応や訓練等に活用することで振り返りによる改善を実施。(不断の改善により防災対応をブラッシュアップ)

＜台風接近時等のWEB会議ツールによる危機感の共有を実施！＞

- ・ 市区町村による避難情報発令などの防災対応を支援するため、河川事務所、気象台のほか、都道府県の河川・砂防部局とも連携し、WEB会議ツールを活用することで防災情報や危機感の共有、流域自治体の対応状況等を関係者で一斉に共有

■流域タイムラインのイメージ



■水害対応タイムラインと法定計画との関係

領域	法定計画等 (策定主体)	タイムライン
流域	国土交通省 防災業務計画等 (地方整備局、河川事務所等)	①流域タイムライン (多機関連携型タイムライン)
市区町村	地域防災計画 (市区町村)	②市区町村タイムライン (多機関連携型タイムライン)
地区	地区防災計画 (自治会、自主防災組織)	コミュニティタイムライン
個人、事業者等	避難確保計画(要配慮者利用施設) 個別避難計画(要配慮者)	③マイ・タイムライン (デジタル・マイ・タイムライン)

避難情報着目型タイムライン (多機関連携型タイムライン) ← 従来

流域タイムライン作成例 (イメージ)

黒字：水位、気象情報、災害体制 ●：情報の受け手

水位	状況	气象台	河川事務所	A県	B市	C市	警察・消防等	住民等
3日前準備	・3日後に台風がD川流域に影響する恐れ ・3日後に大雨が予想されD川流域に影響する恐れ	府県気象情報(台風進路予定等) 早期注意情報発表(中・高)						
WEB会議ツールによる危機感の共有								
1日前準備	・1日後に台風がD川流域に影響する恐れ ・1日後に大雨が予想されD川流域に影響する恐れ	府県気象情報(台風進路予定等) 早期注意情報発表(中・高) ・台風に関するA県気象情報発表(随時) ・A県気象情報発表(随時) 大雨注意報・洪水注意報発表	注意体制 警報が発表された場合					
水防団待機水位	・水防団待機水位超過	・台風に関するA県気象情報発表(随時) ・A県気象情報発表(随時)	水防警報(待機)発表	●	●	●		
氾濫注意水位	・氾濫注意水位超過	・台風に関するA県気象情報発表(随時) ・A県気象情報発表(随時)	水防警報(準備)発表	●	●	●		
			洪水予報(氾濫注意情報)発表	●	●	●	●	
避難判断水位	・避難判断水位超過	・台風に関するA県気象情報発表(随時) ・A県気象情報発表(随時) 暴風警報発表	水防警報(出動)発表	●	●	●		
			洪水予報(氾濫警戒情報)発表	●	●	●	●	
氾濫危険水位	・氾濫危険水位超過		警戒体制 氾濫注意水位を超過した場合					
			水防警報(警戒)発表 漏水・漏水・浸食等により災害の恐れがある場合	●	●	●	●	
避難判断水位	・避難判断水位超過		非常体制 氾濫危険水位を超過した場合					
			洪水予報(氾濫危険情報)発表	●	●	●	●	
氾濫発生	・氾濫発生		非常体制 氾濫危険水位を超過した場合					
			洪水予報(氾濫発生情報)発表	●	●	●	●	
			ホットライン(氾濫発生) 堤防決壊の発生の伝達と今後の河川状況など動向					
				【警戒レベル3】高齢者等避難発令 氾濫が発生した場合に住民に対して命を守る行動を促す	【警戒レベル3】高齢者等避難発令 氾濫が発生した場合に住民に対して命を守る行動を促す			→ 高齢者等が避難開始
				【警戒レベル4】避難指示発令 氾濫が発生した場合に住民に対して命を守る行動を促す	【警戒レベル4】避難指示発令 氾濫が発生した場合に住民に対して命を守る行動を促す			→ 住民が避難開始
				【警戒レベル5】緊急安全確保 氾濫が発生した場合に住民に対して命を守る行動を促す	【警戒レベル5】緊急安全確保 氾濫が発生した場合に住民に対して命を守る行動を促す			→ 緊急安全確保措置

5. ワンコイン浸水センサの紹介

～令和5年度ワンコイン浸水センサ実証実験～

令和5年度 ワンコイン浸水センサ実証実験

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和5年4月14日
水管理・国土保全局 河川計画課

自治体・企業等からの新規参加者を決定 ～ワンコイン浸水センサ実証実験～

浸水の危険性がある地域に浸水センサを多数設置し、リアルタイムにその状況を把握する実証実験を実施しています。

このたび、令和5年度に継続実施する実証実験において、追加のモデル地区となる自治体、及びモデル地区において自らの施設等に浸水センサを設置・管理する企業・団体等を公募により決定しました。

○実証実験の参加者

今回の公募により、34の自治体・17の企業・団体等を追加参加者として、決定しました。（別紙参照）

今後は各関係者で調整し、浸水センサの設置を進めていきます。

※参加者は令和5年3月末時点の状況であり、今後、追加・変更等が生じる場合があります。



実証実験で設置した浸水センサの設置事例

<実証実験の目的>

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっております。そのため、浸水センサを用いてリアルタイムに浸水状況を把握する仕組みの構築に向けて、民間企業と国や自治体等の様々な関係者が浸水センサを設置し、浸水センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものです。

※これまでの実証実験概要等は以下WEBサイトに掲載しています。

今後、参加者の追加等あった場合はこちらでお知らせします。

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

【問合せ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
企画専門官 外山(内線 35392)、係長 中村(内線 35394)
代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446

ワンコイン浸水センサ実証実験 令和5年度参加者一覧 (令和5年3月末時点)

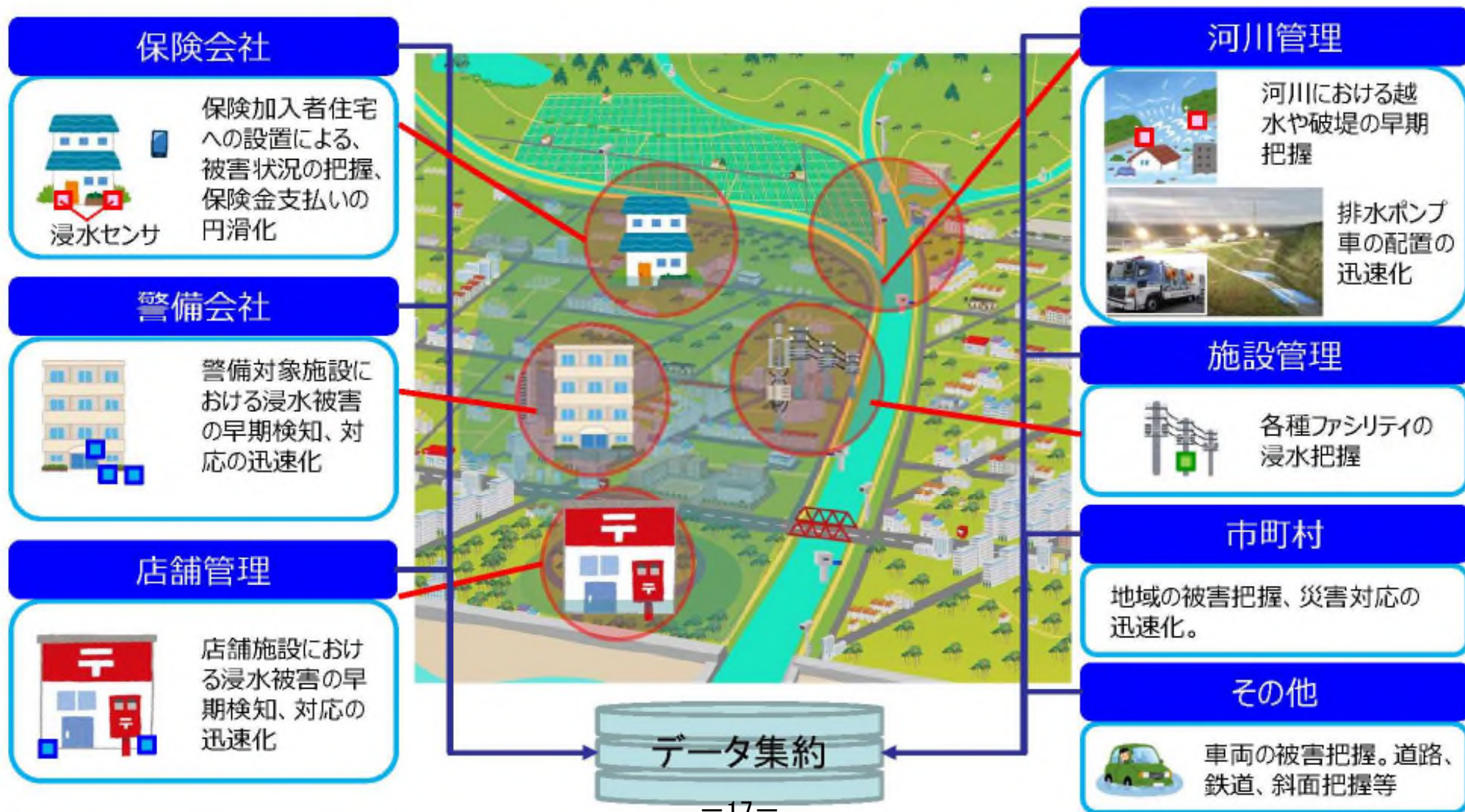
別紙

自治体名	企業・団体名(代表者) ※左記自治体内でセンサを設置する企業・団体等
北海道美瑛町	
北海道網走町	(株) 水エリサーチ
北海道音更町	(株) 北開水工コンサルタント
青森県七戸町	青森県土木整備部河川砂防課
宮城県大崎市	一般財団法人 日本気象協会
山形県中山町	(株) テイデイイー
山形県川西町	(株) テイデイイー
福島県伊達市	太陽誘電(株)
茨城県境町	一般財団法人 日本気象協会
群馬県高崎市	太陽誘電(株)
埼玉県川越市	エヌエスティ・グローバリスト(株) 坂戸、熊ヶ島下水道組合 朝日航洋(株)
埼玉県坂戸市	エヌエスティ・グローバリスト(株) 坂戸、熊ヶ島下水道組合 一般財団法人 日本気象協会
千葉県野田市	エヌエスティ・グローバリスト(株)
千葉県佐倉市	(株) 広域高速ネット二九六
千葉県酒々井町	(株) 広域高速ネット二九六
岐阜県大垣市	(株) オリエンタルコンサルタンツ
静岡県磐田市	
静岡県南町	エヌエスティ・グローバリスト(株) (損害保険ジャパン(株)) (中央大学研究開発機構) (あいおいニッセイ同和損害保険(株)) セイコーインスツル(株)
愛知県豊田市	
三重県津市	AIG損害保険(株)
三重県桑名市	
兵庫県姫路市	旭光電機(株)
兵庫県加古川市	(中央大学研究開発機構) (オブアックス(株)) (東京海上日動火災保険(株))
兵庫県豊岡市	(株) オーク
兵庫県三田市	旭光電機(株)
兵庫県朝来市	
兵庫県南あわじ市	(ワンコイン浸水センサ実証実験共同体) 喜多機械産業(株)
兵庫県養父市	
島根県江津市	
島根県川本町	
岡山県岡山市	国立大学法人岡山大学
(徳島県美波町)	喜多機械産業(株)
高知県四万十市	
高知県いの町	
福岡県久留米市	
(佐賀県神埼市)	(有) ジョイックス交通
大分県日田市	
宮崎県都城市	

※()は令和4年度からの継続参加者。
※令和5年3月末時点の参加者であり、今後、追加・変更等が生じる場合があります。

ワンコイン浸水センサによる浸水情報の活用ケース

- 浸水センサの設置者が、被害状況の迅速な把握と対応の円滑化が可能となるとともに、それらの情報を参画企業等で共有することで、流域全体の災害対応力が向上。
- そのため、浸水データの共有、効率的な管理を行う共通プラットフォームを構築



浸水センサ検知事例(愛知県岡崎市 R4.9.23)

R4台風15号による岡崎市内の浸水センサ検知箇所 (2022.9.23 15:00 ~ 24:00)

岡崎市福岡学区センサ設置箇所



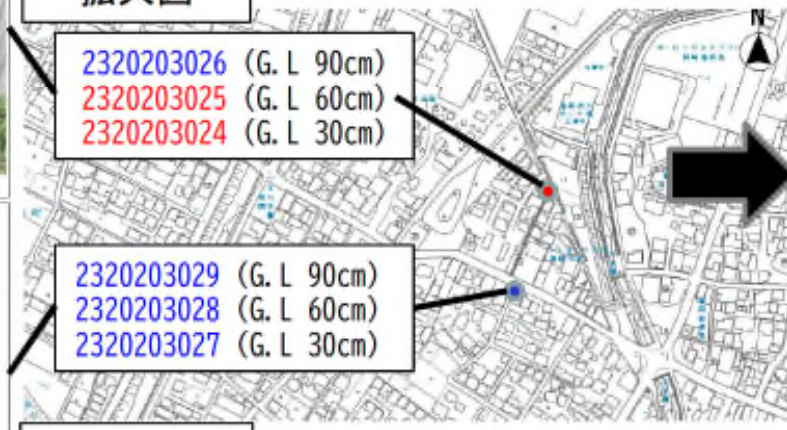
2022年9月23日夕方から夜のはじめ頃にかけて
福岡学区内2箇所6個の浸水センサのうち
1箇所2個の浸水センサにて浸水を検知

拡大図

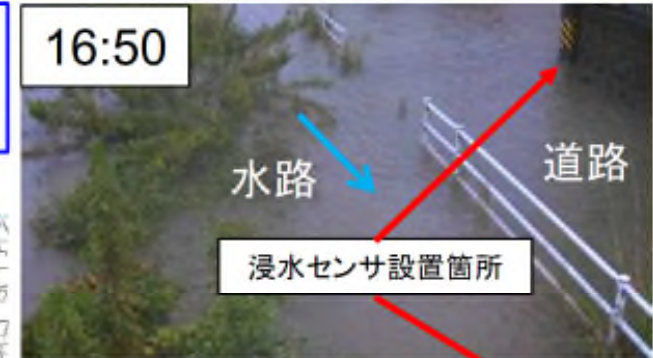
2320203026 (G. L 90cm)
2320203025 (G. L 60cm)
2320203024 (G. L 30cm)

2320203029 (G. L 90cm)
2320203028 (G. L 60cm)
2320203027 (G. L 30cm)

● 検知あり
● 検知なし



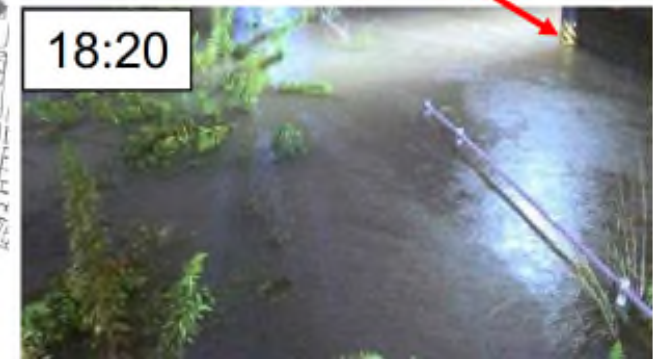
16:50



水路 道路

浸水センサ設置箇所

18:20



検知時間

センサID	15時00分	15時30分	16時00分	16時30分	17時00分	17時30分	18時00分	18時30分	19時00分	19時30分	20時00分	20時30分	21時00分	21時30分	22時00分	22時30分	23時00分	23時30分	24時00分	
2320203025																				
2320203024																				

■ 浸水を検知した時間帯



センサタイプ:(株)リプロ

15時25分
大雨警報(土砂災害・浸水害)、洪水警報の発表に伴い、岡崎市災害対策本部

18時06分
非常配備体制を警戒体制から第一非常配備体制へ切り替え

20時57分
大雨警報(土砂災害・浸水害)解除
非常配備体制を第一非常配備体制から

22時46分
洪水警報解除
岡崎市災害対策本部を廃止

- センサメーカーのサーバに今回設置したセンサの浸水検知情報が到達していることを確認
- 岡崎市はセンサメーカーの閲覧システムWEB画面上にて浸水情報を確認

ワンコインセンサ設置位置案 (大崎市)



6. 支援業務について

「要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援」

「マイ・タイムライン作成支援」

北上川下流河川事務所 支援業務取組み

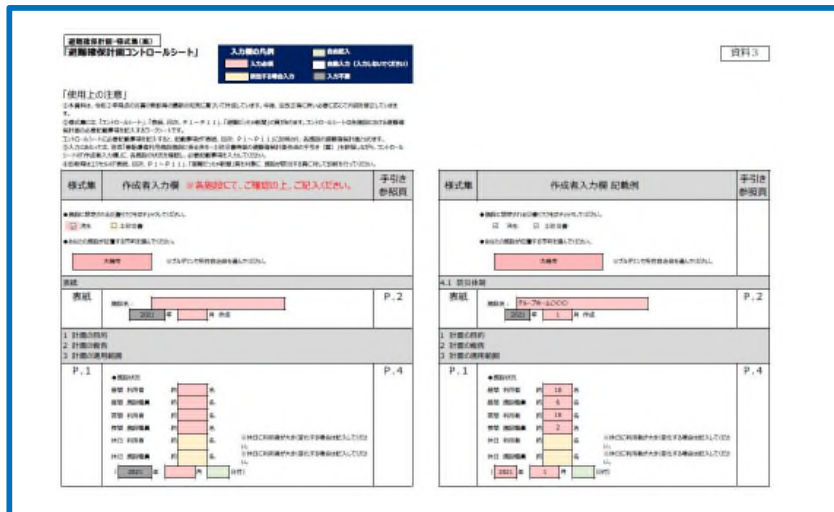
北上川下流河川事務所では、減災対策協議会運営・取組方針でのソフト対策関連の一環といたしまして、「要配慮者利用施設の避難確保計画作成」や「マイ・タイムライン作成」にあたって、担当関係者や住民向け講習会などを管内の各自治体が計画、開催予定等された場合、運営や企画などでの支援業務を行い、より良い内容、目的達成となるよう講習会実施等のお手伝い（支援業務）をさせて頂いております。

・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援実績

- 令和2年2月19日 石巻市
- 令和2年2月20日 登米市
- 令和2年9月18日 登米市
- 令和3年1月25日 美里町
- 令和3年2月8日～9日 大崎市
- 令和3年10月13日 大崎市

・マイ・タイムライン作成講習会の支援実績

- 令和1年11月21日 涌谷町
- 令和2年9月5日 東松島市
- 令和3年9月16日 美里町
- 令和4年6月26日 宮城県、大郷町 (別添開催状況参照)



資料のイメージ



資料のイメージ

【お願い】

支援業務の実施までにはある程度の準備期間が必要となります。また支援希望が重なった場合などは時期等の調整をさせて頂く場合もありますので、予定計画をされる場合などは早めの連絡等に御協力下さい。

(連絡・お問い合わせ先：北上川下流河川事務所防災情報課 TEL0225-94-9854)

大郷町マイ・タイムライン講習会の運営支援について

○令和4年6月26日（日）に宮城県と大郷町等の主催によるマイ・タイムライン作成講習会が大郷町内にて開催され、町内の婦人防災クラブ会員等を対象に「洪水時の一人ひとりの防災行動計画」となるマイ・タイムラインの作り方や地域に広めるためのポイントなどを学習していただきました。

○この講習会の開催は、水害等による被害軽減対策として、日頃から防災・減災に対する意識を高め、災害時の避難準備や行動について考えていただくとともに、地域への普及活動を目的としています。

「鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」では講習会運営について支援を行いました。

○講習会では、町内の方から過去水害の体験談発表もあり、あらためて日頃からの洪水への備えの大切さを実感共有しながら町の防災マップや避難の考え方を確認し、それぞれの地域の特徴や生活環境にあわせたオリジナルの「マイ・タイムライン」を作成しました。

【開催概要】

- ◇日時：令和4年6月26日（日）9:00~12:00
- ◇場所：大郷町ふれあいセンター21 多目的ホール
- ◇講師：河川情報センター、気象予報士、東北大学（サポーター）
- ◇参加人数：約60名（町内の婦人防災クラブ会員等）

【次第】

- ◆開会・大郷町長あいさつ
 - ◆過去の災害体験談
 - ◆マイ・タイムラインの作成体験・作成指導演習
- ※当該講習会は、換気や消毒の徹底などコロナウイルス感染拡大防止に配慮して実施されました。



ここでの講習が町内各地区で展開される事を期待



昭和61年8月豪雨や令和元年台風19号での水害体験を発表（町内在住の方）



最近の災害や気象の特徴を確認（気象予報士）



7. 減災対策取り組み状況について

(令和5年4月1日現在)

＜鳴瀬川＞ 令和5年度 フォローアップ星取表

◎：実施中 ○：今後実施・検討 △：実施を支援 ×：実施しない -：未定 (※黄着色：更新)

項目 事項 No.	取組項目 具体的取組	目標時期	取組機関	実施する機関																	実施率
				石巻市	東松島市	大崎市	富谷市	松島町	大和町	大郷町	大衡村	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	宮城県	気象台	国土交通省	東北地整		
【人命を守る取組】																					
1) ハード対策の主な取組																					
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																					
1	〈鳴瀬川・江合川〉・堤防整備、河道掘削・堤防の浸透対策、ダム整備 〈吉田川〉・堤防整備、河道掘削 〈定川〉・堤防整備、河道掘削	継続実施	宮城県 東北地整															◎		◎	100%
■既存施設の有効活用																					
2	ダムの柔軟な運用	順次実施	宮城県 東北地整															◎		◎	100%
■危機管理型ハード対策																					
3	〈鳴瀬川〉・堤防天端の保護、堤防裏法 氏の補強を推進 〈江合川〉・堤防天端の保護、堤防裏法 氏の補強を推進 〈吉田川・定川〉・堤防天端の保護	平成32年まで	宮城県 東北地整															◎		◎	100%
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																					
4	簡易アラート装置の配備	平成32年まで	東北地整																	◎	100%
5	雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握、伝達するための簡易水位計、CCTV等の基盤整備	継続実施	宮城県 東北地整																	◎	100%
6	・危機管理型水位計の配置 ・避難行動に必要な映像提供を考慮した河川監視用カメラの配置計画を見直し、順次整備を実施。	平成32年まで	宮城県 東北地整																	◎	100%
7	・庁舎や排水機場の雨水化の確認、雨水化、及び非常用電源等の対策の必要性や問題意識を共有	平成28年度から順次実施	市町村 宮城県 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	69%	
8	アラート化等の無動カ化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施	令和元年度から検討実施	宮城県 東北地整																-	◎	50%
9	全天候型ロボットを順次配備	令和元年度から検討実施	宮城県 東北地整																◎	◎	100%
10	・氾濫による危険性が特に高い区間のリスク情報を共有 ・建設発生土、伐採木の処理、活用方法、対策後の維持管理について検討・調整	令和元年度から検討実施	宮城県 東北地整																-	◎	50%
11	・河川・下水道が連携して実施すべき浸水被害の軽減対策について検討・調整	令和元年度から検討実施	市町村 宮城県	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-			-	◎	42%
12	・遊離路・復旧路線の抽出及び道路幅上げ	R3年度から検討開始	市町村 宮城県 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎	31%
13	・基礎規制の緩和等による遊離建築物の整備及び物資の備蓄	R3年度から検討開始	市町村 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎	100%

＜鳴瀬川＞ 令和5年度 フォローアップ星取表

項目 事項 No.	取組項目 具体的取組	目標時期	取組機関	実施する機関																実施率					
				石巻市	東松島市	大崎市	富谷市	松島町	大和町	大畑町	大衡村	色床町	加美町	清谷町	美里町	宮城県	気象台	国土交通省 東北地整							
2) フォローアップの主な取組 ①住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からリスコミュニケーションの取組																									
■洪水時等の速やかな情報伝達及び避難計画等に資する取組																									
14	・夜間等の急激な水位上昇を想定した タイムラインの改善及び訓練による検証	平成28年度 から 順次実施	市町村	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	100%			
15	・水位周知河川の追加及び鶴島なな 方も活用して浸水想定及び河川水位 等の情報を提供	平成28年度 実施	宮城県																		◎	100%			
16	・ホワイトラインの構築及び検証	平成29年度 から 検討実施	宮城県 市町村	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	100%		
17	・想定最大規模降雨による浸水想定区 域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊 等氾濫想定区域(鳴瀬川、吉田川、江 合川、必要に応じてダム下流域)の公 表	平成28年度 から 実施	宮城県 東北地整																		◎	◎	100%		
18	・浸水想定区域図を浸水ナビへ実装	順次実施	宮城県 東北地整																		◎	◎	100%		
19	・隣接市町村間の避難計画の策定	平成28年度 から 順次実施	市町村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0%		
20	・想定最大規模の洪水での隣接市町 村間の避難計画を考慮したハザード マップの作成・周知	平成29年度 から 順次実施	市町村	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	100%		
21	・リエゾンの早期応援要請・ツングシ型 派遣レベルの構築	R2年度から 検討開始	市町村 宮城県 仙台市 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	93%		
22	・地区別ハザードマップ、まるごとまちこ どハザードマップ、内水ハザードマップ等 の作成・検討	平成28年度 から 順次実施	市町村	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	77%		
23	・ダム・道路情報も含めた防災情報を 集約したポータルサイトの整備	平成29年度 から 実施	東北地整																			◎	100%		
24	・ツングシ型の洪水情報の発信	平成29年度 から 順次実施	東北地整																			◎	100%		
25	・土砂・洪水氾濫の危険性が高い箇所 のうち緊急性が高い箇所の情報提供・ 共有	令和元年度 から 検討実施	宮城県																		○	◎	0%		
26	・ダムや堰・樋門等の機能や効果、操 作に関する情報を流域住民等へ周知	令和元年度 から 検討実施	宮城県 東北地整																			◎	◎	100%	
27	・住民の避難行動につながるダム放流 情報の改善や通知タイムラインの改善	令和元年度 から 検討実施	宮城県 東北地整																			◎	◎	100%	
28	・要配慮者利用施設の管理者への説 明会の実施	平成28年度 から 実施	宮城県 仙台市 東北地整																			◎	△	◎	100%

＜鳴瀬川＞ 令和5年度 フォローアップ星取表

項目 事項 No.	取組項目 具体的取組	目標時期	取組機関	実施する機関																		実施率
				石巻市	東松島市	大崎市	富谷市	松島町	大和町	大畑町	大衡村	色床町	加美町	清谷町	美里町	宮城県	気象台	国土交通省	東北地整			
2)より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組																						
43	・関係機関が連携した水防訓練・水防団等同士の連絡体制の再確認の実施	平成28年度から 順次実施	市町村	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	100%	
44	・水防団等の募集・指定を促進	平成28年度から 順次実施	市町村	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	100%	
45	・安全性を十分に確保した上での夜間の急激な水位上昇を想定した水防団等への連絡体制の検討・構築	平成28年度 順次実施	市町村	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	100%	
46	・重要水防箇所の合同巡視	継続実施 市町村 宮城県 仙台市 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	100%	
47	・迅速な水防活動を支援するための水防資機材、夜間作業用ランプ、雨具等の配備・水防資機材の備蓄及び保管の確認	継続実施 市町村 宮城県 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	100%	
48	・河川防災ステーションの整備を進めるとともに、関係機関と情報を共有し市町村等の円滑な水防活動等、活用方策を検討・調整	令和元年度 から 検討実施	東北地整																	◎	100%	
2)プロジェクトの主な取組 ③一日も早く日常生活を取り戻すための排水活動の強化などの取組																						
排水活動及び訓練・施設運用に関する取組																						
49	・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行う イ、大規模水害緊急排水計画(案)を作成	平成28年度 順次実施	市町村 宮城県 東北地整																	◎	50%	
50	・緊急排水計画(案)に基づく排水訓練の実施	平成28年度 順次実施	市町村 宮城県 東北地整																	◎	50%	
51	・浸水被害軽減地区の指定	令和元年度 から 検討実施	市町村 宮城県 東北地整			○														△	20%	
52	・浸水想定区域内の災害対策視点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する来水時の情報伝達体制・方法について検討	令和元年度 からの 検討実施	市町村 宮城県 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	77%	
【生産活動に着与する取組】																						
1)ハード対策の主な取組																						
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																						
53	〈鳴瀬川・江合川〉堤防整備・河道掘削・堤防の浸透対策・ダム整備 (吉田川)・堤防整備・河道掘削 (定川)・堤防整備・河道掘削	継続実施	宮城県 東北地整																	◎	100%	
■既存施設の有効活用																						
54	ダム柔軟な運用	順次実施	宮城県 東北地整																	◎	100%	

＜鳴瀬川＞ 令和5年度 フォローアップ星取表

項目 事項 No.	取組項目 具体的取組	目標時期	取組機関	実施する機関																実施率		
				石巻市	東松島市	大崎市	富谷市	松島町	大和町	大畑町	大衡村	色床町	加美町	清谷町	美里町	宮城県	気象台	国土交通省	東北地整			
■生産活動を守るためのソフト対策																						
55	・法人・道路情報も含めた防災情報を集約したポータルサイトの整備(再掲)	平成29年度から実施	東北地整																◎	100%		
56	・アプリ型の洪水情報の発信	平成29年度から実施	市町村 宮城県 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	100%	
57	・地方自治体、民間企業等合同参加による総合防災訓練の実施	継続実施	市町村 企業など	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	100%	
58	・気象情報発信時の「危険度の区分け」や「警報級の現象」等の改善(本書時の情報入手のし易さをサポーター(再掲)	平成29年度から実施	仙台圏区 気象台																◎	◎	100%	
59	・企業等における防災知識の普及啓発のための講習会等の実施	平成29年度から実施	宮城県 仙台圏区 東北地整																◎	△	◎	100%
60	・浸水情報、通行止等の道路交通・規制情報の共有	継続実施	市町村 企業	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	92%

＜北上川下流＞ 令和5年度 フォローアップ星取表

◎：実施中 ○：今後実施・検討 △：実施を支援 ×：実施しない -：未定 (※黄着色：更新)

項目 事項 No.	取組項目		実施する機関	実施する機関											実施率
	具体的取組	目標時期		取組機関	石巻市	登米市	栗原市	大崎市	涌谷町	女川町	宮城県	気象台	国土地震院	東北地整	
1)ハート対策の主な取組															
■洪水氾濫を未然に防ぐ取組															
1	<北上川>堤防整備・堤防の浸透対策 <泊川等>堤防整備・河道掘削・堤防の浸透対策 <雄勝・杜鹿・女川圏域>堤防整備・河道掘削	継続実施	宮城県 東北地整										◎	◎	100%
		■既存施設の有効活用													
2	ダム柔軟な運用	順次実施	宮城県 東北地整										◎		100%
■危機管理型ハート対策															
3	<北上川>堤防裏法尻の補修 <旧北上川>堤防天端の保護 <泊川等>雄勝・杜鹿・女川圏域>堤防天端の保護	平成32年まで	宮城県 東北地整										◎	◎	100%
		■避難行動、水防活動、排水活用に資する基礎等の整備													
4	簡易アラート装置の配備	平成32年まで	東北地整											◎	100%
5	雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための簡易水位計、CCTV等の基盤整備	継続実施	宮城県 東北地整										◎	◎	100%
6	危機管理型水位計の配置 ・避難行動に必要な映像提供を考慮した河川監視用カメラの配置計画を見直し、順次整備を実施。	平成32年まで	宮城県 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎	100%
7	・氾濫危険水位の現地表示	継続実施	宮城県										◎		100%
8	・排水機場、庁舎等の耐水性の確認・耐水化、及び非常用電源等の対策の必要性や問題意識を共有	平成28年度から順次実施	市町 宮城県 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎		83%
9	フラット化等の無動力化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施	令和元年度から検討実施	宮城県 東北地整										-	◎	50%
10	全天候型ノーンを順次配備	令和元年度から検討実施	宮城県 東北地整										◎		100%
11	・防災センターの整備による、平時の防災教育プログラムや災害時の復旧支援部隊の詰所及び災害支援オペレーション機能を備えた災害対策本部の確保	平成30年度まで実施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎		100%
12	・土砂・洪水氾濫の危険性が高い箇所のうち緊急性が高い箇所の情報提供、共有	令和元年度から検討実施	宮城県										◎		50%
13	・河川・下水道が連携して実施すべき浸水被害の軽減対策について検討・調整	令和元年度から検討実施	市町 宮城県	◎	◎			◎	◎				◎	-	80%
14	・避難路・復旧路線の抽出及び道路嵩上げ	R3年度から検討開始	市町 宮城県 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎		100%
15	・基準規制の緩和等による避難建物の整備及び物資の備蓄	R3年度から検討開始	市町 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎		100%

＜北上川下流＞ 令和5年度 フォローアップ星取表

項目 事項 No.	取組項目	目標時期	取組機関	実施する機関										実施率
				石巻市	登米市	栗原市	大崎市	涌谷町	女川町	宮城県	気象台	国土地震院	東北地整	
2) フォローアップ対策の主な取組 ①住民の主体的で安全な避難行動を促す日ごろからのリスクコミュニケーションの取組														
■洪水情報等の速やかな情報伝達及び避難計画等に資する取組														
16	・河川別川タイムラインの作成・訓練・改善及び地区ごとに住民への周知	平成28年度から順次実施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	△	◎	89%
17	・避難勧告等の発令基準の見直し	平成28年度から順次実施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	100%
18	・水位周知河川の追加及び簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供	継続実施	宮城県								◎			100%
19	・ホトラインの構築及び検証	平成29年度から検討実施	市町 宮城県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	100%
20	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊氾濫想定区域北上川・旧北上川・迫川・必要に応じてダム下流域の公表	継続実施	宮城県 東北地整								◎		◎	100%
21	・浸水想定区域図を浸水ナビへ実装	令和元年度から検討実施	宮城県 東北地整								◎		◎	100%
22	・隣接市町村間の避難計画の策定	令和元年度から検討実施	市町		○	◎	◎	○	○					25%
23	・想定最大規模の洪水での隣接市町村間の避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知	継続実施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				100%
24	・地区別ハザードマップ、またごまごまハザードマップ、内水ハザードマップ等の作成検討	継続実施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○		△		86%
25	・ダム・道路情報も含めた防災情報を集約したポータルサイトの整備	平成29年度から順次実施	東北地整										◎	100%
26	・リエソンの早期対応要請・ラジオ型派遣ルールの構築	R3年度から検討開始	市町 宮城県 仙台管区気象台 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	89%
27	・ラジオ型の洪水情報の発信	継続実施	東北地整										◎	100%
28	・土砂・洪水氾濫の危険性が高い箇所のうち緊急性が高い箇所の情報提供・共有	令和元年度から検討実施	宮城県								○			0%
29	・ダムや堰・樋門等の機能や効果、操作に関する情報を流域住民等へ周知	令和元年度から検討実施	宮城県 東北地整								◎		◎	100%
30	・住民の避難行動につながるダム放流情報の改善や通知タイムラインの改善	令和元年度から検討実施	宮城県 東北地整								◎		◎	100%
31	・要配慮者利用施設の管理者への説明会の実施	継続実施	宮城県 東北地整								◎	△	◎	100%
32	・コミュニティーFMや防災アプリの整備、防災ラジオの配布及び屋外子局の増設	平成28年度から順次実施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				100%

＜北上川下流＞ 令和5年度 フォローアップ星取表

項目 事項 No.	取組項目	具体的取組	目標時期	取組機関	実施する機関										実施率	
					石巻市	登米市	栗原市	大崎市	涌谷町	女川町	宮城県	気象台	国土地震院	東北地整		
33		・要配慮者利用施設等の避難計画の作成及び訓練の促進	継続実施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	○						83%
34		・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現勢」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度から実施	仙台管区気象台							◎					100%
35		・応急的な退避場所の整備	令和元年度から検討実施	市町	◎	○	◎	◎								75%
36		・地域に応じた情報発信手法の構築	R3年度から検討開始	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎						100%
37		・介護施設等との災害協定による要配慮者の避難先(福祉避難所)確保	R3年度から検討開始	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎						100%
38		・避難行動宣言ツールの導入	R3年度から検討開始	市町	◎	○	◎	○	◎	○						50%
■平時における住民への周知・防災教育・訓練に関する取組																
39		・首长も参加したロールプレイング等の実践的な訓練の実施	平成28年度から順次実施	市町 宮城県 仙台管区気象台 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				100%
40		・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現勢」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)(再掲)	平成29年度から実施	仙台管区気象台								◎				100%
41		・それぞれの地域の災害に応じた自助訓練を実施	平成28年度から順次実施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎						100%
42		・水害リスクの高い区間(外水・内水)における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	平成28年度から順次実施	市町 宮城県 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎						100%
43		・小中学校等における水防災教育出前講座を活用した講習会の実施・支援体制の構築	平成28年度から順次実施	市町 宮城県 仙台管区気象台 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	○		◎	△			90%
44		・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料を作成	平成28年度から順次実施	市町 宮城県 仙台管区気象台 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎				89%
45		・浸水実績等を用いた水害リスク周知の取組についての事例集を共有	令和元年度から検討実施	宮城県							◎					100%
46		・地域包括支援センターに「サードパーティ」の掲示や避難訓練のお知らせ等の防災関連のパンフレット等を設置 ・地域包括支援センター・ケアマネジャーの研修の場で「サードパーティ」等の説明を実施	令和元年度から検討実施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎				88%
47		・「マイタイムライン」の作成	R3年度から検討開始	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎		△				100%

＜北上川下流＞ 令和5年度 フォローアップ星取表

項目 事項 No.	取組項目	目標時期	取組機関	実施する機関											実施率
				石巻市	登米市	栗原市	大崎市	涌谷町	女川町	宮城県	気象台	国土地震院	東北地整		
2) フォロ対策の主な取組 ② 発災時に人命と財産を守る水防活動の強化の取組															
■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組															
48	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	平成28年度 から順次実 施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				100%
49	・水防活動の担い手となる水防団の募集・指定を促進	平成28年度 から順次実 施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					100%
50	・毎年、関係機関が連携した実働水防訓練を実施する。	平成28年度 から順次実 施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△				100%
51	・大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓蒙を行う	平成28年度 から順次実 施	市町		◎	◎	○	◎							75%
52	・重要水防箇所の合同巡視		市町 宮城県 仙台管区気象 台 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	-	◎	◎				89%
53	・迅速な水防活動を支援するための水防資機材、夜間作業用ライト、雨具等の配備・水防資機材の備蓄及び保有の確認		市町 宮城県 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					100%
54	・河川防災センター等の整備を進めるとともに、関係機関と情報を共有し市町村等の円滑な水防活動等、活用方策を検討・調整	令和元年度 から検討実 施	市町 東北地整												0%
2) フォロ対策の主な取組 ③ 一日も早く日常生活を取り戻すための排水活動の強化等の取組															
■ 排水活動及び訓練 施設運用に関する取組															
55	・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害緊急排水計画(案)を作成	平成28年度 から順次実 施	市町 宮城県 東北地整								○				50%
56	・緊急排水計画(案)に基づく排水訓練の実施	平成28年度 から順次実 施	市町 宮城県 東北地整								-				50%
57	・浸水被害軽減地区の指定	令和元年度 から 検討実施	市町 宮城県 東北地整				○				○				50%
58	・水害BCP(事業継続計画)を作成	平成28年度 から順次実 施	市町	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-				88%
59	・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制・方法について検討	令和元年度 から検討実 施	市町 宮城県 東北地整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	△				88%

8. 令和5年度に実施した 防災気象情報の改善

令和5年8月
仙台管区气象台

目次

- 「洪水キキクル」と「水害リスクライン」の統合表示
⇒令和5年2月16日実施
- 「顕著な大雨に関する情報」の改善（直前予測）
⇒令和5年5月25日 実施
- 洪水警報等の暫定基準見直し（2市町、7河川廃止。残り1市、2河川継続）
⇒令和5年6月8日 実施
- 高潮警報・注意報の暫定基準見直し（4市町廃止、2市町継続）
⇒令和5年6月8日 実施
- 洪水警報等の基準見直し
⇒令和5年6月8日 実施
- 大雨注・警報（浸水害）の基準見直し
⇒令和5年6月8日 実施

「洪水キキクル」と「水害リスクライン」の統合表示 (令和5年2月16日実施)

地域の洪水の危険度を一元的に確認できるよう、これまで別々に提供してきた「洪水警報の危険度分布」(洪水キキクル)と「国管理河川の洪水の危険度分布」(水害リスクライン)を気象庁ホームページ上で一体的に表示するよう改善しました。

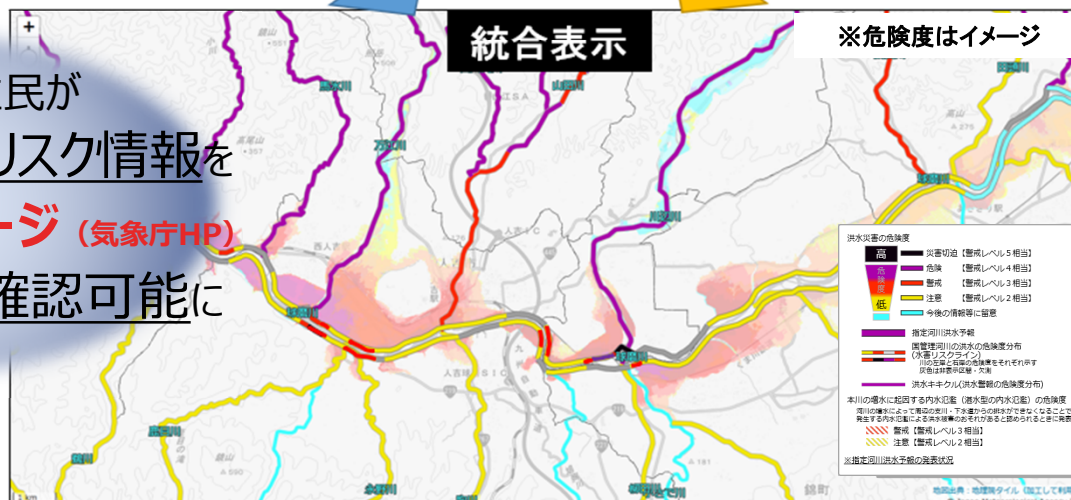
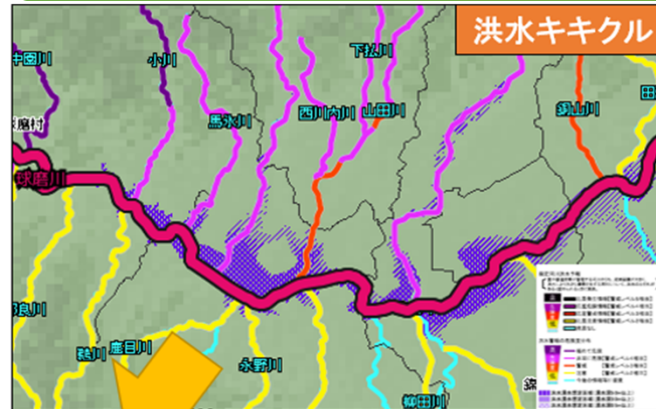
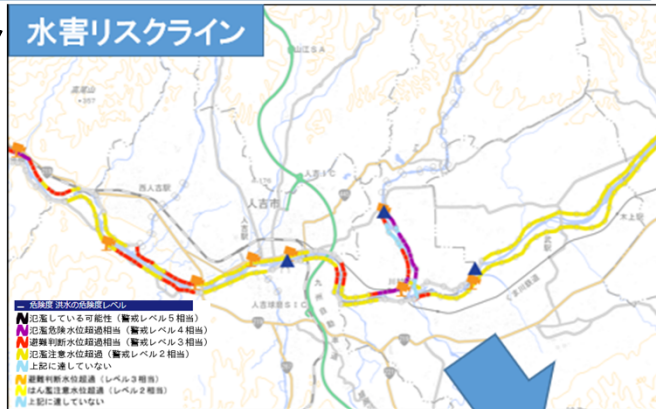
「国管理河川の洪水の危険度分布※」
(水害リスクライン)

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える

「洪水警報の危険度分布※」
(洪水キキクル)

※ 中小河川の洪水危険度を伝える

国管理河川の詳細な予測情報は水害リスクラインで提供。

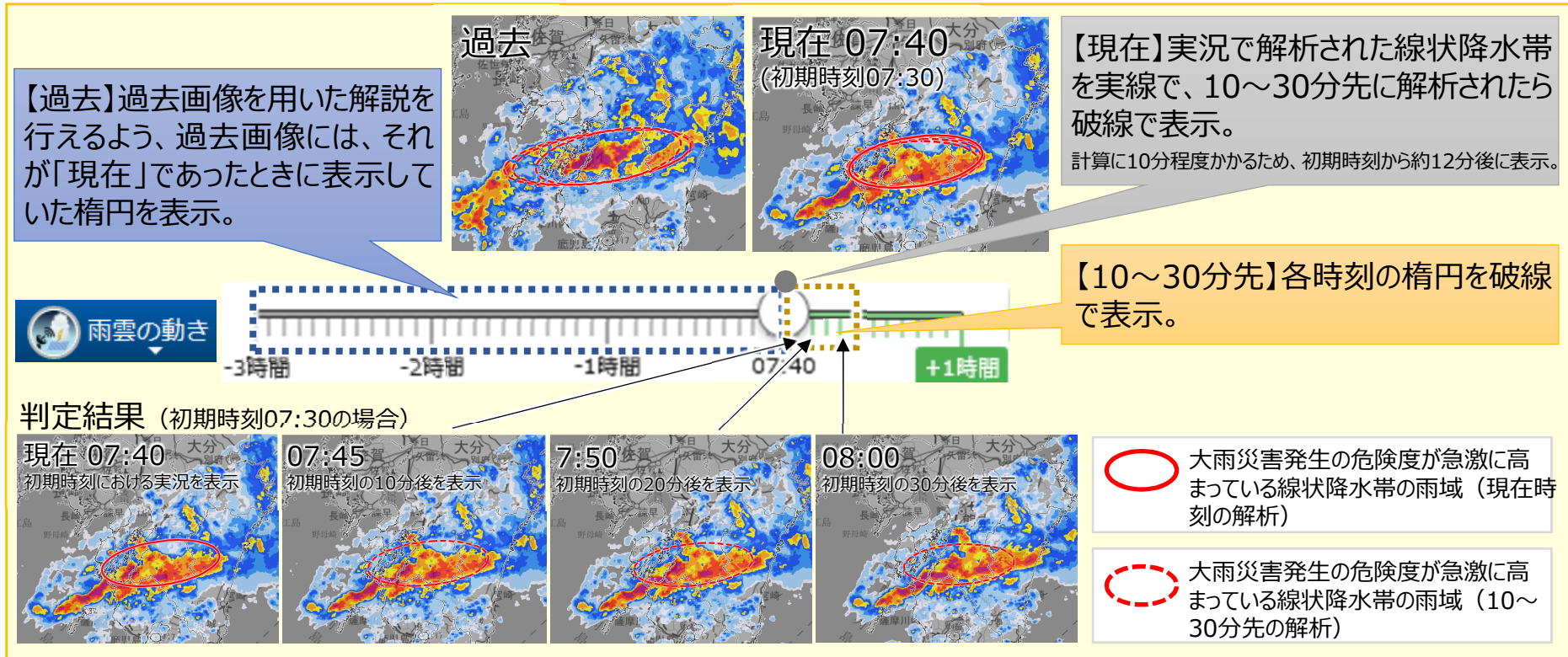


自治体・住民が
それぞれの詳細なリスク情報を
洪水キキクルページ (気象庁HP)
でワンストップで確認可能に

※危険度はイメージ

顕著な大雨に関する気象情報の改善（令和5年5月25日実施）

「顕著な大雨に関する気象情報」は、非常に激しい雨が同じ場所で**実際に降り続けている状況**を「線状降水帯」というキーワードを用いて解説を行ってきました。
 これからは、**雨量予測も用いて線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えます。**



これまでの情報と今回の改善

令和3年6月	顕著な大雨に関する気象情報の運用開始 線状降水帯の 発生を知らせる 情報
令和4年6月	線状降水帯による大雨の 可能性を伝える 気象情報（広域で半日前から）
令和4年5月25日	顕著な大雨に関する気象情報の運用改善 線状降水帯 発生の直前予測（最大30分）

「顕著な大雨に関する気象情報」のイメージ

顕著な大雨に関する〇〇県気象情報 第1号
 令和5年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇气象台発表
 （見出し）
 〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。
 （本文）
 なし

洪水警報等の暫定基準見直し (令和5年6月8日実施)

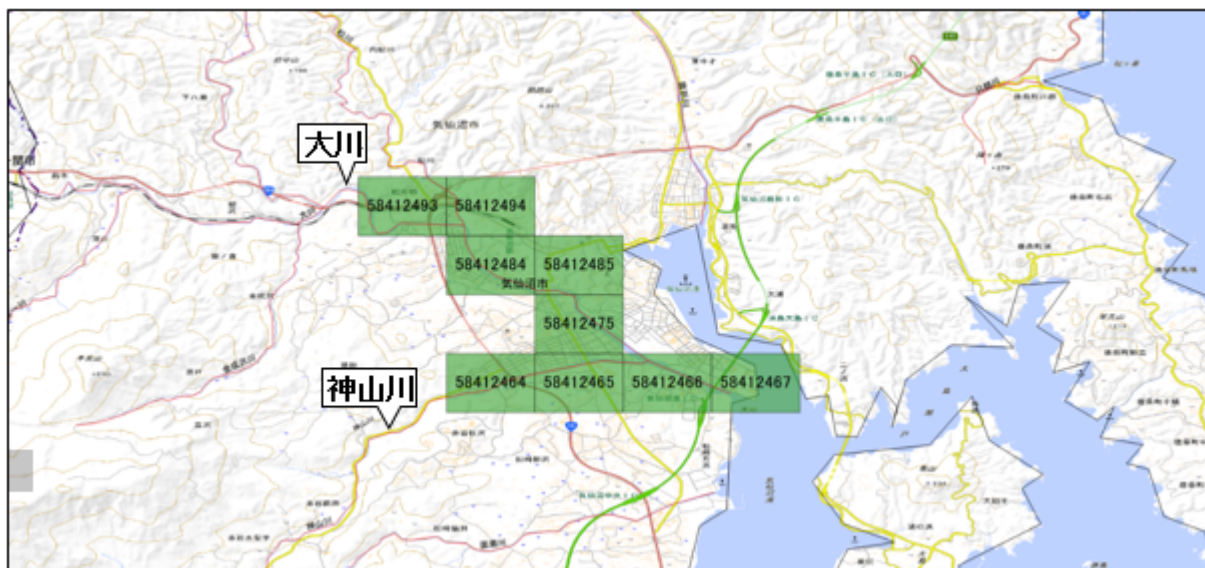
平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震と津波に伴う堤防や排水施設等の被害を考慮し、平成23年3月30日から暫定基準により洪水警報・注意報を運用し、以後、河川復旧工事の復旧状況に合わせて順次暫定基準を順次見直してきました。

今般、暫定基準を継続している9河川のうち、令和5年3月末までに復旧工事の完了した7河川について、**暫定基準を廃止し、令和5年6月8日から通常基準**で運用しています。

市町	河川名					
気仙沼市	大川	神山川				
南三陸町	港川					
石巻市	大沢川	皿貝川	中島川	富士川	釜谷川	追波沢川

■ 暫定基準を**継続**する河川 (2)

■ 暫定基準を**廃止**する河川 (7)



■ 暫定基準を継続する気仙沼市大川及び神山川のメッシュ

※平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及びそれに伴う津波により甚大な被害が発生した市町村を対象に、堤防や排水施設等の被害を考慮し、洪水警報・注意報は、平成23年3月30日に通常基準から引き下げた暫定基準による運用を開始した。暫定基準の変更や廃止は、令和元年5月29日までは二次細分区域(市町村等)ごとに行っていたが、令和2年以降は、河川復旧工事の進捗状況に合わせて、水害に対する脆弱性が元の状態に戻っていない地域に限定して、1キロ格子単位で行っている。

高潮警報・注意報の暫定基準見直し（令和5年6月8日実施）

【暫定基準の見直し】

平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震と津波による被害や地盤沈下により高潮に対して脆弱となった市町村について、暫定基準により高潮警報注意報を運用し、防潮施設の復旧状況を踏まえ順次暫定基準を見直してきました。

今般、**塩竈市、石巻市、東松島市、女川町**については、防潮施設の復旧が確認できたことから、**暫定基準を廃止し新たな通常基準を設定**しました。一方、**気仙沼市、南三陸町**は復旧工事が完了していないため**暫定基準を継続**します。



一次細分 区域	市町村等を まとめた 地域	二次細分 区域	警報(潮位:m)			注意報(潮位:m)		
			新たに 設定する 通常基準	通常 基準	暫定 基準	新たに 設定する 通常基準	通常 基準	暫定 基準
東部	東部仙台	塩竈市	1.6	1.2	1.1	0.9	0.9	0.8
		石巻市	1.2	1.2	1.1	0.9	0.9	0.8
	石巻地域	東松島市	1.6	1.2	1.1	0.9	0.9	0.8
		女川町	1.2	1.2	1.1	0.9	0.9	0.8
	気仙沼地域	気仙沼市	↔	1.2	1.1	↔	0.9	0.8
		南三陸町	↔	1.2	1.1	↔	0.9	0.8

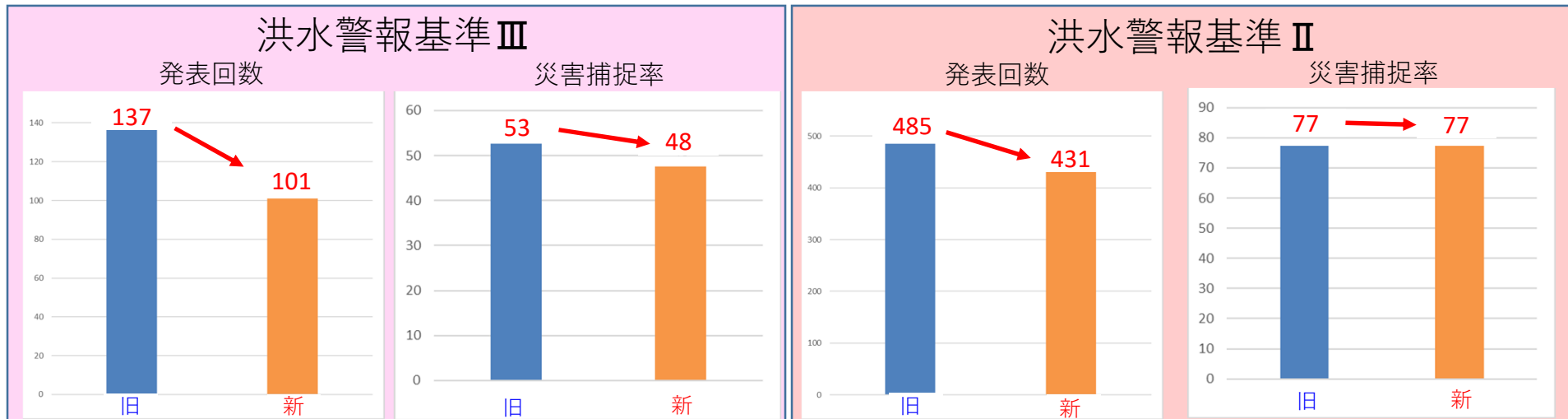
【新たな警報基準の設定】

塩竈市、東松島市、女川町は、防潮施設が計画高潮位より高い。石巻市は、防潮施設が計画高潮位より低い地域があるが、周辺民家の標高が計画高潮位よりも高く、これまで重大な高潮災害は発生していないことから、計画高潮位を市町村危険潮位とし、これを警報基準とする。

洪水警報等の基準見直し（令和5年6月8日実施）

令和2年まで（30年間）の流域雨量指数データ、災害データを用いて洪水警報基準の見直しを実施し、令和5年6月8日から新たな基準で運用しています。

新基準は、従来と同程度の災害捕捉率を確保しつつ、発表頻度を減少させることができるため、避難情報など自治体の防災対応において、**より使いやすい警報・注意報**になることが期待されます。



基準	基準要素	基準設定手法	
		調査対象期間に災害発生あり	調査対象期間に災害発生なし
警報相当	流域雨量指数基準	河川流域で発生した外水氾濫に起因する重大な浸水害を高い確度で捕捉するように設定。	災害ありの河川で設定された基準Ⅲを参考に、それと同等レベルの基準値を設定。 (基準Ⅲと基準Ⅱの比が「災害発生ありの河川」と同程度になるように設定)
	流域雨量指数基準	河川流域で発生した外水氾濫に起因する重大な浸水害を見逃さないように設定。	基準超過頻度を考慮し、30年確率値を設定。 (調査期間(25年間程度)で1回基準超過するレベルに設定)
注意報相当	複合基準 表面雨量指数+流域雨量指数	河川流域で発生した内水氾濫に起因する重大な浸水害を見逃さないように設定。	設定しない。
	流域雨量指数基準	河川流域で発生した外水氾濫に起因する浸水害（警報まで至らない軽微なもの）を見逃さないように設定。	基準超過頻度を考慮し、基準Ⅱの7～8割に設定。
注意報相当	複合基準 表面雨量指数+流域雨量指数	河川流域で発生した内水氾濫に起因する浸水害（警報まで至らない軽微なもの）を見逃さないように設定。	設定しない。

洪水警報見直しのポイント

- 1991-2020年の指数と災害データによる見直し（指数・災害データ1年分追加、確率値算出用は3年分追加）
- キキクル流路修正による流域雨量指数変化
- 監視格子の見直しによる流域雨量指数変化
- 流域雨量指数計算処理プログラムにおける数値の扱い方の一部変更（整数型⇒小数点型）
- 災害捕捉率を維持しつつ発表回数（空振り）を低減

※洪水警報基準は、市町村数×河川数×2（単独基準・複合基準）と多いため基準値は掲載していません。

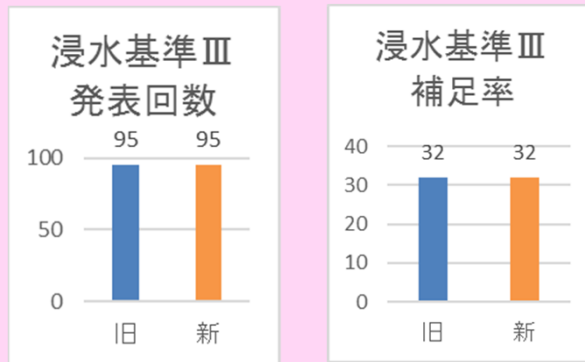
大雨警報（浸水害）基準の見直し（令和5年6月8日実施）

令和2年まで（30年間）の降雨データ、災害データを用いて大雨警報（浸水害）・注意報基準の見直しを実施し、令和5年6月8日から新たな基準で運用しています。

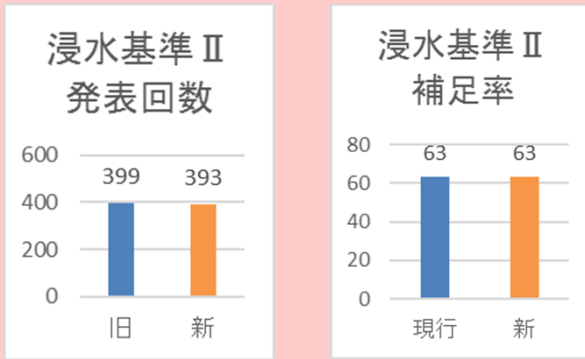
新基準は、従来と同程度の災害捕捉率、発表頻度と想定されます。また、一部市町村については発表頻度の減少が想定されるため、より精度向上が図られます。

市町村別の新旧表面雨量指数基準

大雨警報（浸水害）基準Ⅲ



大雨警報（浸水害）基準Ⅱ



二次細分 区域	基準Ⅲ		基準Ⅱ (警報)		基準Ⅰ (注意報)		二次細分 区域	基準Ⅲ		基準Ⅱ (警報)		基準Ⅰ (注意報)	
	新	旧	新	旧	新	旧		新	旧	新	旧	新	旧
仙台市東部	28	28	13	13	10	10	南三陸町	17	17	13	13	7	7
塩竈市	22	22	14	14	8	8	角田市	20	20	14	14	8	8
名取市	26	26	18	18	8	8	大河原町	15	15	12	12	7	7
多賀城市	29	29	19	19	11	11	村田町	18	16	14	12	8	8
岩沼市	26	26	19	19	9	9	柴田町	18	18	14	14	8	8
亘理町	26	26	19	19	11	11	丸森町	16	16	12	12	8	8
山元町	21	21	16	16	8	7	登米市	23	23	18	18	9	9
松島町	21	21	16	16	6	6	栗原市東部	28	28	18	18	11	11
七ヶ浜町	28	28	18	18	11	11	仙台市西部	21	21	12	12	9	9
利府町	25	25	15	15	8	8	大和町西部	20	20	15	15	10	10
大和町東部	21	21	16	16	8	8	大衡村	21	21	14	14	7	7
大郷町	21	21	16	16	9	9	白石市	21	21	15	15	7	7
富谷市	21	21	16	16	10	10	蔵王町	23	23	18	18	7	7
石巻市	19	19	12	12	8	8	七ヶ宿町	22	22	17	17	9	9
東松島市	17	17	13	13	8	8	川崎町	21	21	16	16	9	9
女川町	18	18	12	12	8	8	大崎市西部	29	29	20	20	10	8
大崎市東部	19	19	14	14	8	8	色麻町	25	25	20	20	11	11
涌谷町	19	19	15	15	6	6	加美町	29	29	18	18	10	10
美里町	24	24	19	19	9	9	栗原市西部	28	28	17	17	8	8
気仙沼市	22	22	12	12	8	8							

Ⅲ	<p>重大な浸水被害が発生するおそれ きわめて高い</p> <p>現行の警報対象災害*に対して、コストロス法を用いて、適中率を重視してしきい値を設定</p>	Ⅱ	<p>重大な浸水被害が発生するおそれ</p> <p>現行の警報対象災害*に対して、コストロス法を用いて、捕捉率を重視してしきい値を設定</p>	I	<p>浸水被害が発生するおそれ</p> <p>現行の注意報対象災害に対して、コストロス法を用いて、捕捉率を重視してしきい値を設定</p>
----------	---	----------	--	----------	---

※「発表回数」は30年間の基準到達延べ回数

基準の定義と設定手法

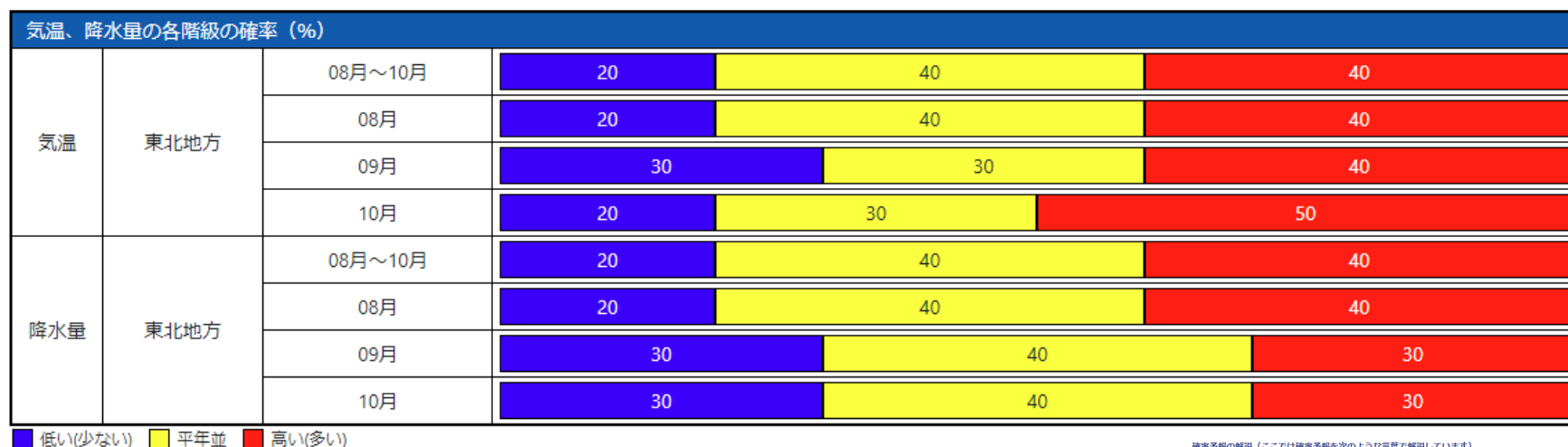
9. この夏の天候の見通しについて

【仙台管区気象台】

向こう3か月（8月～10月）の天候 7月25日発表の3か月予報

東北地方の向こう3か月の気温は、平年並か高い見込み。
 東北地方の向こう3か月の降水量は、平年並か多い見込み。

東北地方 3か月予報（8月～10月）		
2023年07月25日14時00分 仙台管区気象台 発表		
08月～10月	気温	平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
08月	天候	東北日本海側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
	気温	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
09月	天候	東北日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
10月	天候	天気は数日の周期で変わるでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。

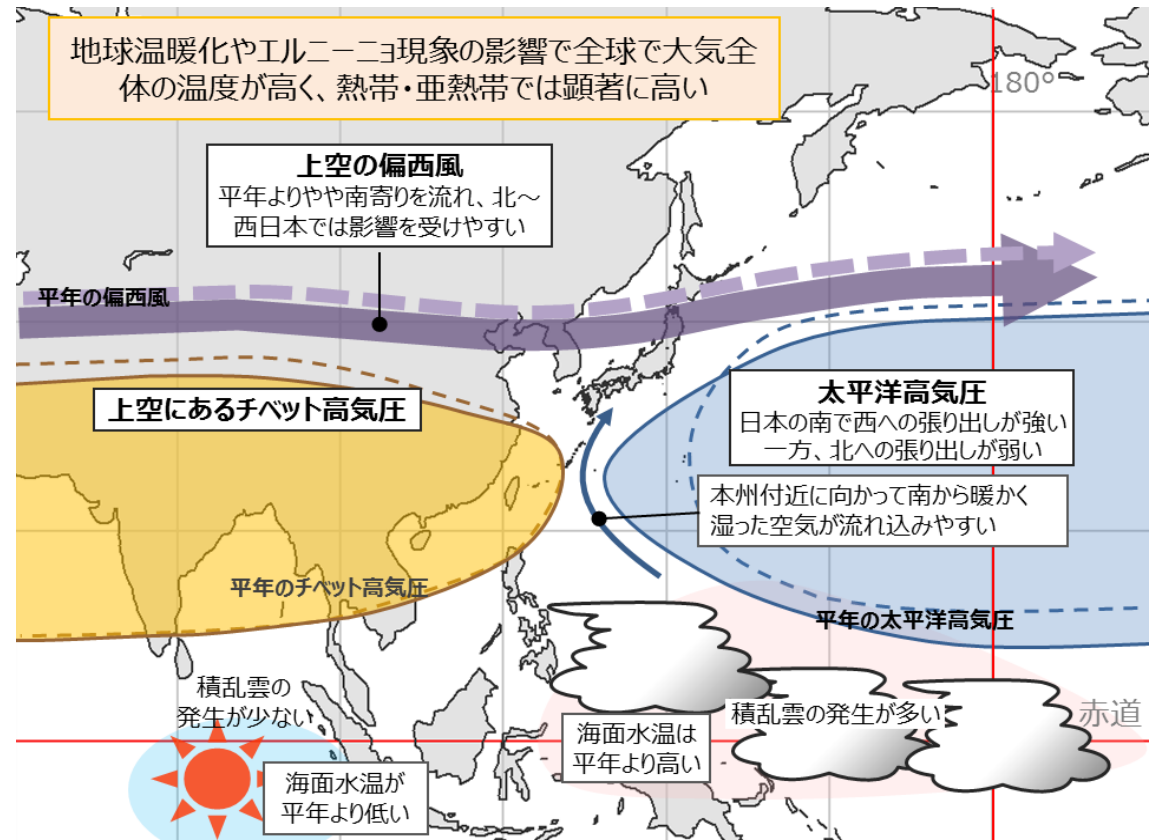


確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い(少ない)：平年並：高い(多い)）	解説
高い(多い) 確率が50%以上	高い(多い) 見込み
(20：40：40)	平年並か高い(多い) 見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40：30：30) (30：40：30) (30：30：40)	ほぼ平年並の見込み
(40：40：20)	平年並か低い(少ない) 見込み
低い(少ない) 確率が50%以上	低い(少ない) 見込み

向こう3か月（8月～10月）の天候の解説

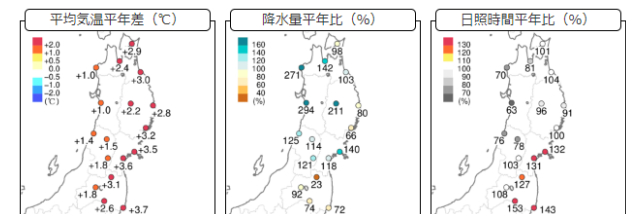
- 地球温暖化やエルニーニョ現象の影響により、全球で大気全体の温度が高く、特に熱帯・亜熱帯域では顕著に高い。
- 冬に終息したラニーニャ現象の影響が残ること、及び、正のインド洋ダイポールモード現象の発生により、積乱雲の発生がフィリピン付近から西部太平洋赤道域にかけて多いでしょう。このため、太平洋高気圧が日本の南で西に張り出しやすい。
- エルニーニョ現象の影響で偏西風は平年よりもやや南寄りを流れ、北・東・西日本ではその影響を受けやすい。
- 以上から、沖縄・奄美を中心に全国的に暖かい空気に覆われやすい。また、北・東・西日本では、暖かく湿った空気に加え、前線や気圧の谷の影響を受けやすい。



<参考> 7月1日～20日の天候経過

- 暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温は平年を上回りました。
- 梅雨前線の影響を受けやすく、7月15日には秋田市仁別で日降水量が330.5mmと、1985年の統計開始以降歴代1位の値を更新（7月20日現在）するなど秋田県を中心に記録的な大雨となりました。このため、降水量は平年を上回った所が多く、日照時間は日本海側で平年を下回った所が多くなりました。

(実況) 07/01～07/20	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
東北地方	+2.4℃	126%	103%
東北日本海側	+1.6℃	166%	83%
東北太平洋側	+3.1℃	99%	118%
東北北部	+2.3℃	158%	88%
東南北部	+2.6℃	98%	117%



10. 想定し得る最大規模降雨の 洪水浸水想定区域について

【宮城県】

想定し得る最大規模降雨の洪水浸水想定区域の指定について

1. 社会的要請・背景

●近年の水災害の激甚化

これまで、大河川である洪水予報河川や水位周知河川について、「想定し得る最大規模の降雨」に対応した洪水浸水想定区域の指定対象とし、避難経路の確保やハザードマップ作成等の避難計画措置を講じているところですが、一方、令和元年東日本台風等の近年の水害では、**洪水予報河川、水位周知河川以外の中小河川（その他河川）**において、河川はん濫等による人的被害が発生しました。このような状況を踏まえ、令和3年7月の水防法改正により、洪水予報河川・水位周知河川に加え洪水による災害の発生を警戒すべき**住宅等の防護対象のある河川（その他河川）**が、洪水浸水想定区域の指定対象に追加されました。

2. 市町村におけるハザードマップの作成について（水防法第15条第3項）

●洪水ハザードマップの作成について

浸水想定区域をその区域を含む市町村の長は、**想定最大規模における洪水を対象とし、洪水浸水想定区域図に洪水予報等の伝達方法、避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項等を記載した洪水ハザードマップを作成が定められており、印刷物の配布やインターネット等により、住民の方々に周知することが定められています。**

3. これまでの指定状況について（宮城県）

●洪水浸水想定区域指定の状況と今後の予定について

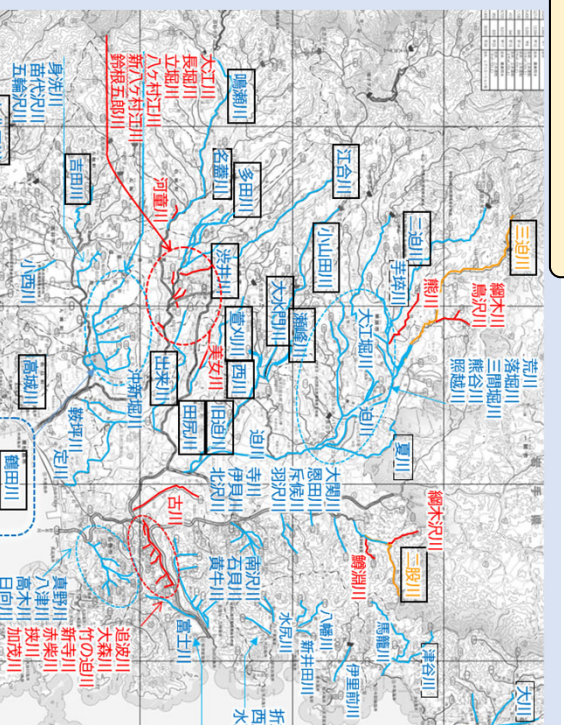
指定対象となる河川は、県管理河川325河川のうち282河川であり、**今年度は、28河川を追加指定し140河川**となりました。今年度も浸水想定区域図の作成を行い、令和6年度はさらに28河川の指定を予定しています。また、**令和7年度までに、住宅等の防護対象のある河川全て（282河川）**で指定予定としており、水害リスク情報空白地の解消を図ります。

4. 今年度の指定状況について

●令和5年度告示指定河川（北上川下流・鳴瀬川水系）

- 一級河川北上川水系
- 追波川, 大森川, 竹の迫川, 新寺川
赤柴川, 掬川, 加茂川, 古川
綱木沢川, 鱒淵川, 二股川
綱木川, 鳥沢川, 熊川, 三迫川
八ヶ村江川, 新八ヶ村江川, 美女川
→計18河川（うち変更2河川）
- 一級河川鳴瀬川水系
- 大江川, 長堀川, 立堀川
大江山, 長堀川, 河童川
鈴根五郎川, 河童川
→計5河川

- : 令和5年度指定河川
— : 令和5年度指定変更河川



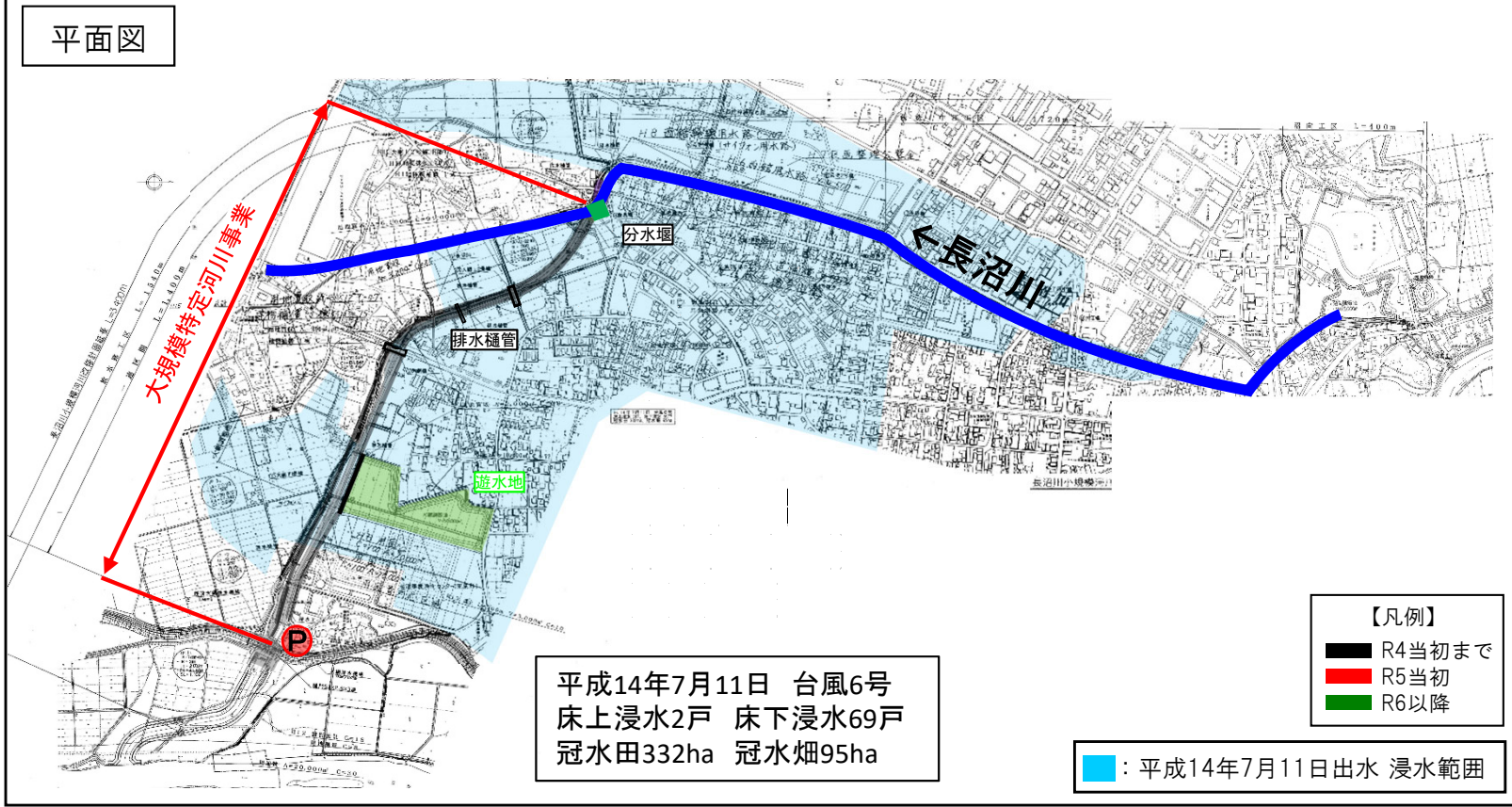
1 1 . 宮城県主要事業について

【宮城県】

大規模特定河川事業【北上川水系長沼川】（宮城県）

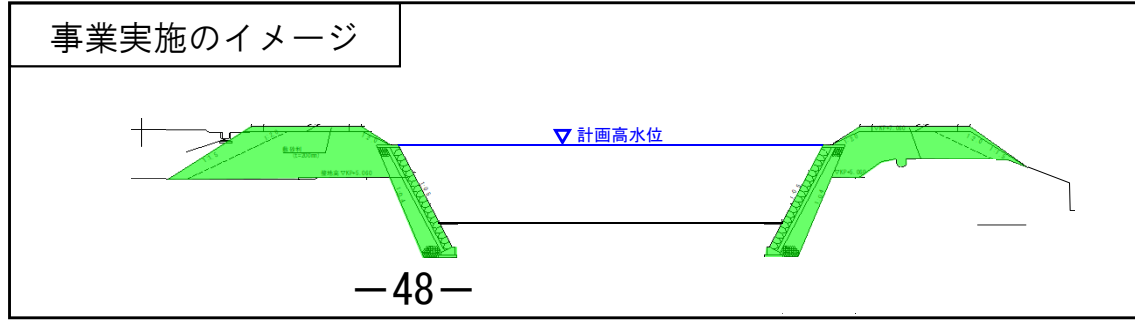
北上川水系長沼川は、旧迫川と合流する下流部において河道断面が非常に狭く、河床勾配が緩いため、平成14年7月の台風6号では旧迫町の中心市街地において、甚大な被害が発生した。

このため、補助事業により迫川への放水路や、排水機場及び調整池整備等を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



- 【全体計画】
 河川名 : 一級河川北上川水系長沼川
 事業内容 : 放水路整備、橋梁、樋管、堰
 全体事業費 : 1,950百万円 (国費975百万円)
 事業期間 : R1~R7
 施工地 : 登米市
- 【令和4年度当初】
 事業内容 : 河道掘削、地盤改良、築堤、排水機場
 事業費 : 420百万円
- 【令和4年度補正】
 事業内容 : パイプライン移設
 事業費 : 90百万円 (国費45百万円)
- 【令和5年度当初】
 事業内容 : 排水機場 (機械設備)
 事業費 : 350百万円 (国費175百万円)

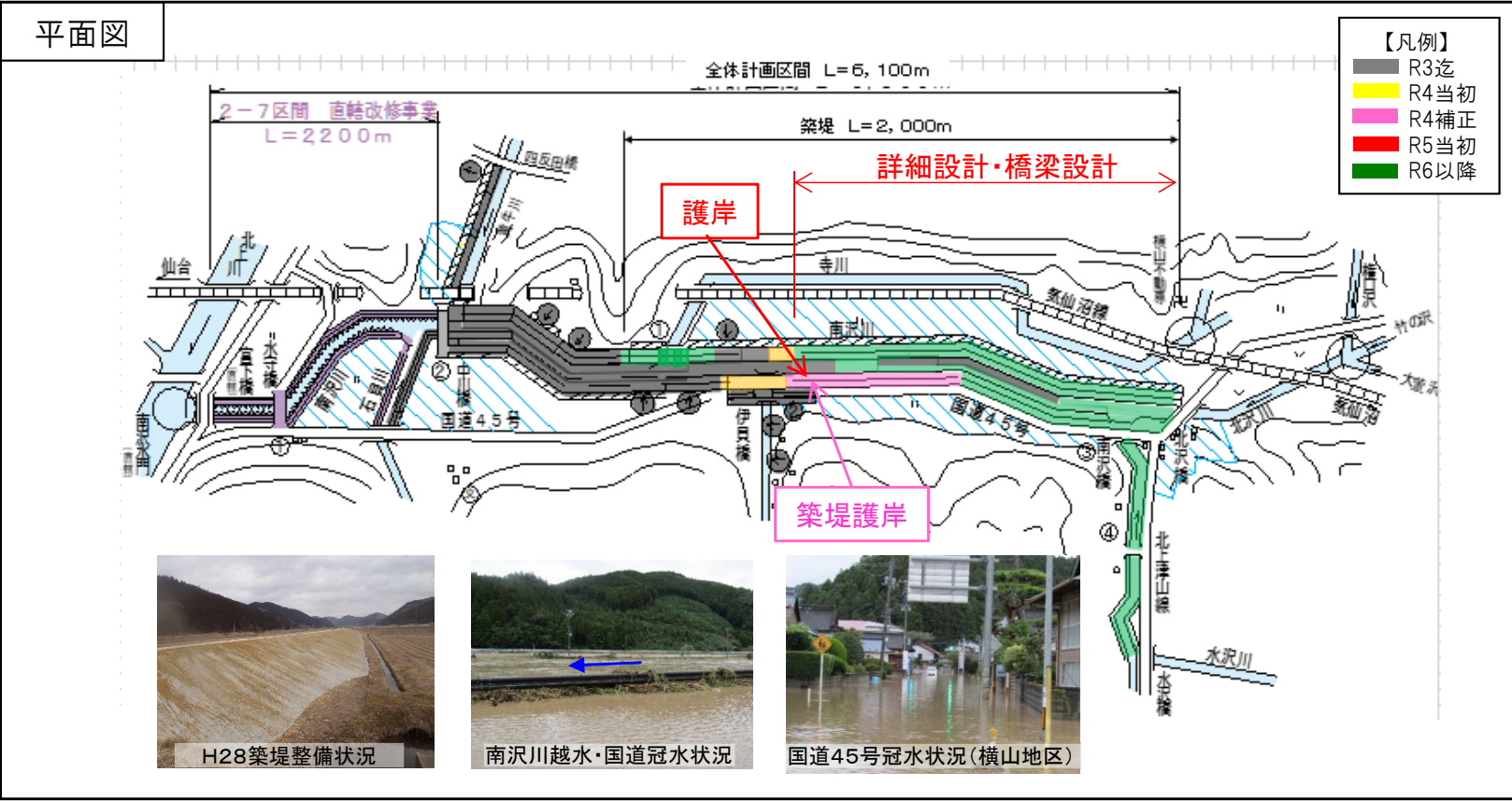
浸水戸数			
浸水履歴	床上浸水戸数	床下浸水戸数	戸数計
平成14年7月11日	2	69	71



大規模特定河川事業〈氾濫危険区域河道掘削〉【北上川水系南沢川】（宮城県）

北上川水系南沢川は、登米市津山町横山で北沢川と合流し、さらに支川の伊貝川、寺川、石貝川と合流して登米市津山町柳津で北上川に注ぐ一級河川で、南沢川沿いの低平地は幾度となく被災しており、令和元年10月の台風第19号では浸水面積57.4ha、床上35戸、床下50戸のほか国道45号が浸水により通行止めとなるなど、甚大な被害が発生した。

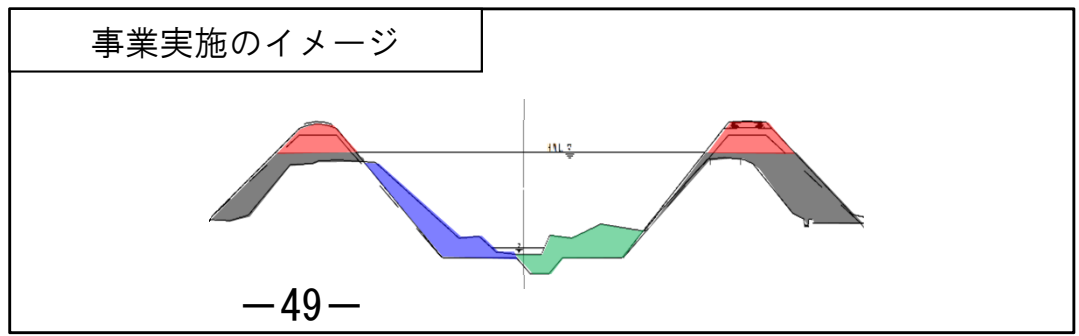
このため、補助事業により築堤及び河道掘削等を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



- 【全体計画】**
 河川名 : 一級河川北上川水系南沢川
 事業内容 : 築堤、護岸、橋梁等
 全体事業費 : 2,500百万円 (国費1,250百万円)
 事業期間 : R2~R11
 施工地 : 登米市
- 【令和4年度補正】**
 事業内容 : 築堤護岸工
 事業費 : 200百万円 (国費100百万円)
- 【令和5年度当初】**
 事業内容 : 護岸工
 上流部詳細設計
 事業費 : 70百万円 (国費35百万円)

浸水戸数

浸水履歴	床上浸水 浸水戸数	床下浸水 浸水戸数	浸水面積 (ha)	備考
H21.10.8	44	38	264	
R1.10.13	35	50	57.4	



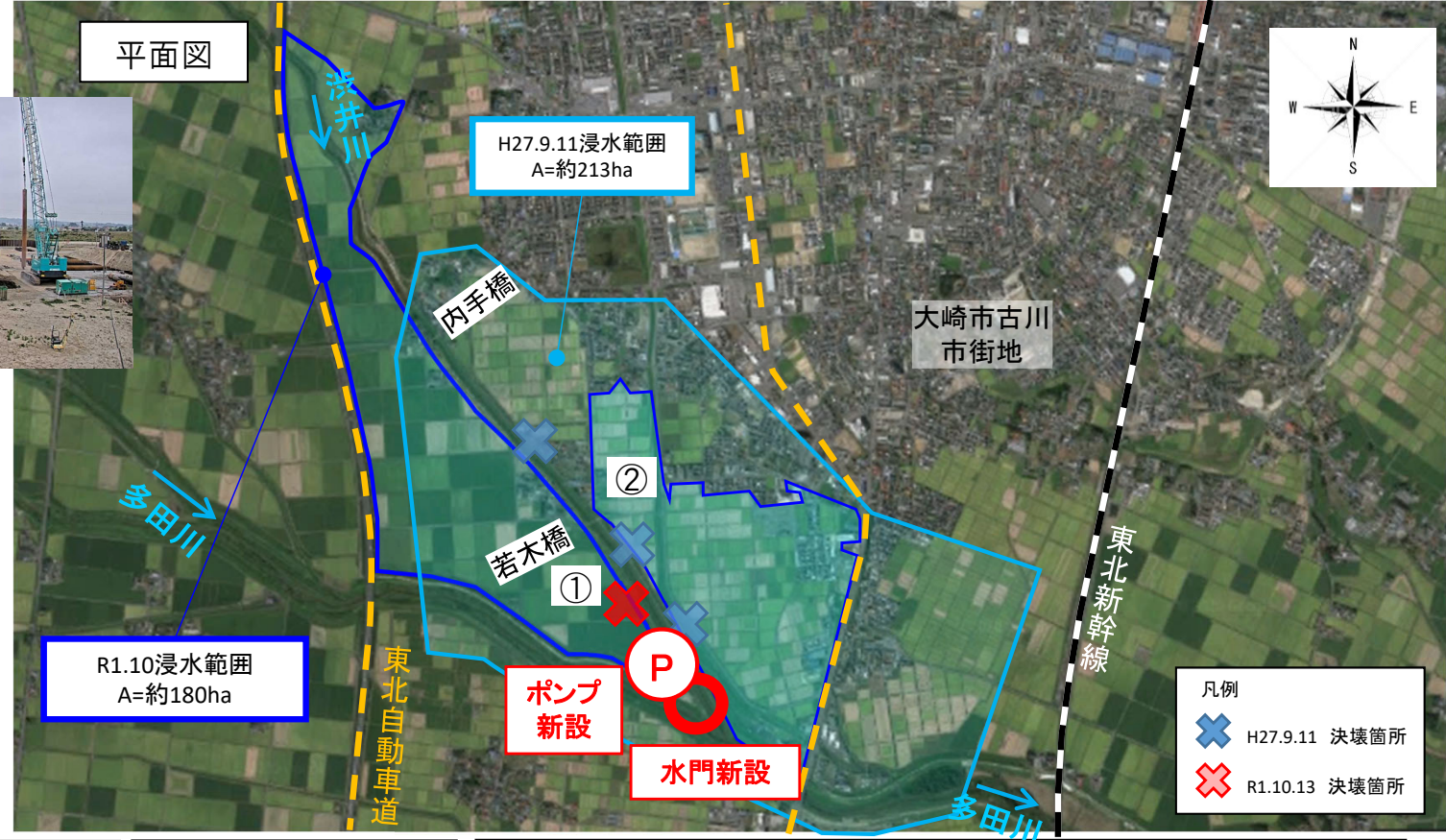
大規模特定河川事業【鳴瀬川水系渋井川】（宮城県）

鳴瀬川水系渋井川は大崎市内の住宅密集地を流下しており、鳴瀬川本川の背水の影響を受けやすく、平成27年の関東東北豪雨による洪水等で甚大な被害が発生した。
 このため、補助事業により水門整備を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。

位置図



平面図



【全体計画】
 河川名 : 一級河川鳴瀬川水系渋井川
 事業内容 : 水門整備, 排水機場
 全体事業費 : 4,500百万円
 事業期間 : R1~R7
 施工地 : 大崎市

浸水戸数

洪水履歴	床上浸水戸数	床下浸水戸数	浸水面積 (ha)	備考
昭和61年8月 台風10号	609戸 (浸水家屋)		362ha	多田川 流域
平成2年9月 台風20号	31戸 (浸水家屋)		24ha	多田川 流域
平成27年 関東東北豪雨	100戸	300戸	213ha	
令和元年 東日本台風	11戸	38戸	180ha	

被害状況



国土強靱化のための5か年加速化対策における樹木伐採・河道掘削（宮城県）

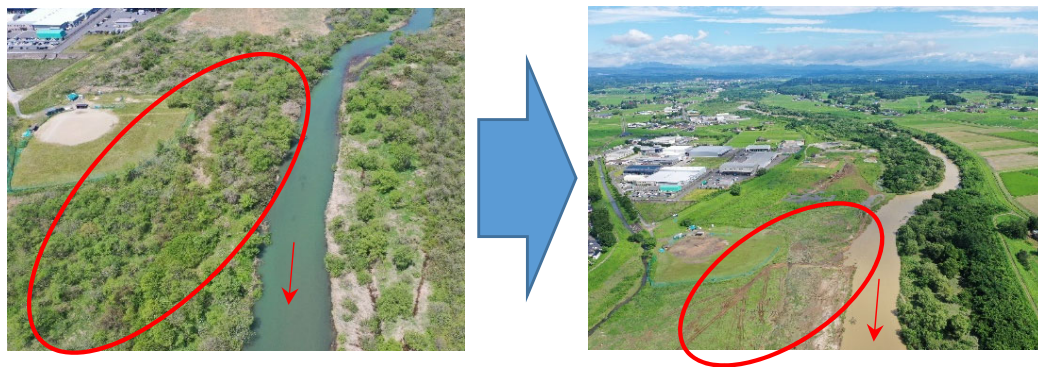
「防災・減災，国土強靱化のための5か年加速化対策」により，支障木伐採，河道掘削（堆積土砂掘削）を進め，令和2年度補正予算～令和7年度までの5か年で集中的に対策を進めていく。

支障木伐採：40/49河川着手済み

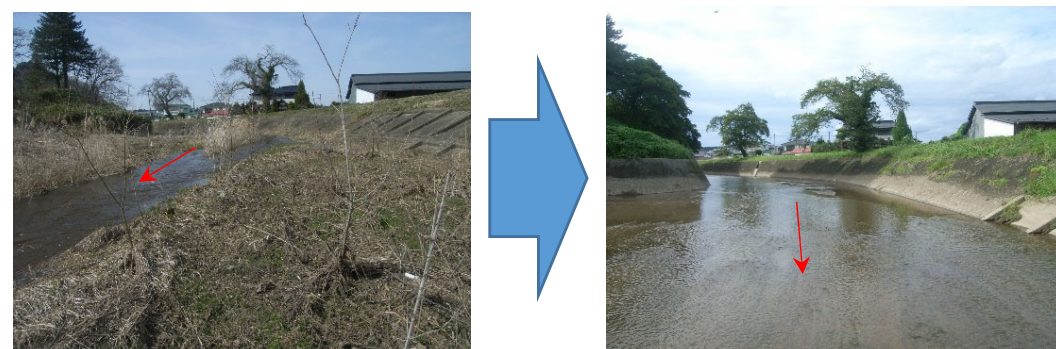
河道掘削：54/63河川着手済み

* 令和5年8月1日時点

支障木伐採：江合川



河道掘削（堆積土砂撤去）：蛭沢川



支障木伐採：旧迫川



河道掘削（堆積土砂撤去）：鱒淵川

